

令和7年度 岩手県一般会計当初予算（案）のポイント



令和7年2月

- ・ 精査の結果、計数等に異同を生じることがあります。
- ・ 表中の各項目の数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、その内訳は、合計と一致しない場合があります。

世界に開かれたいわて地方創生予算

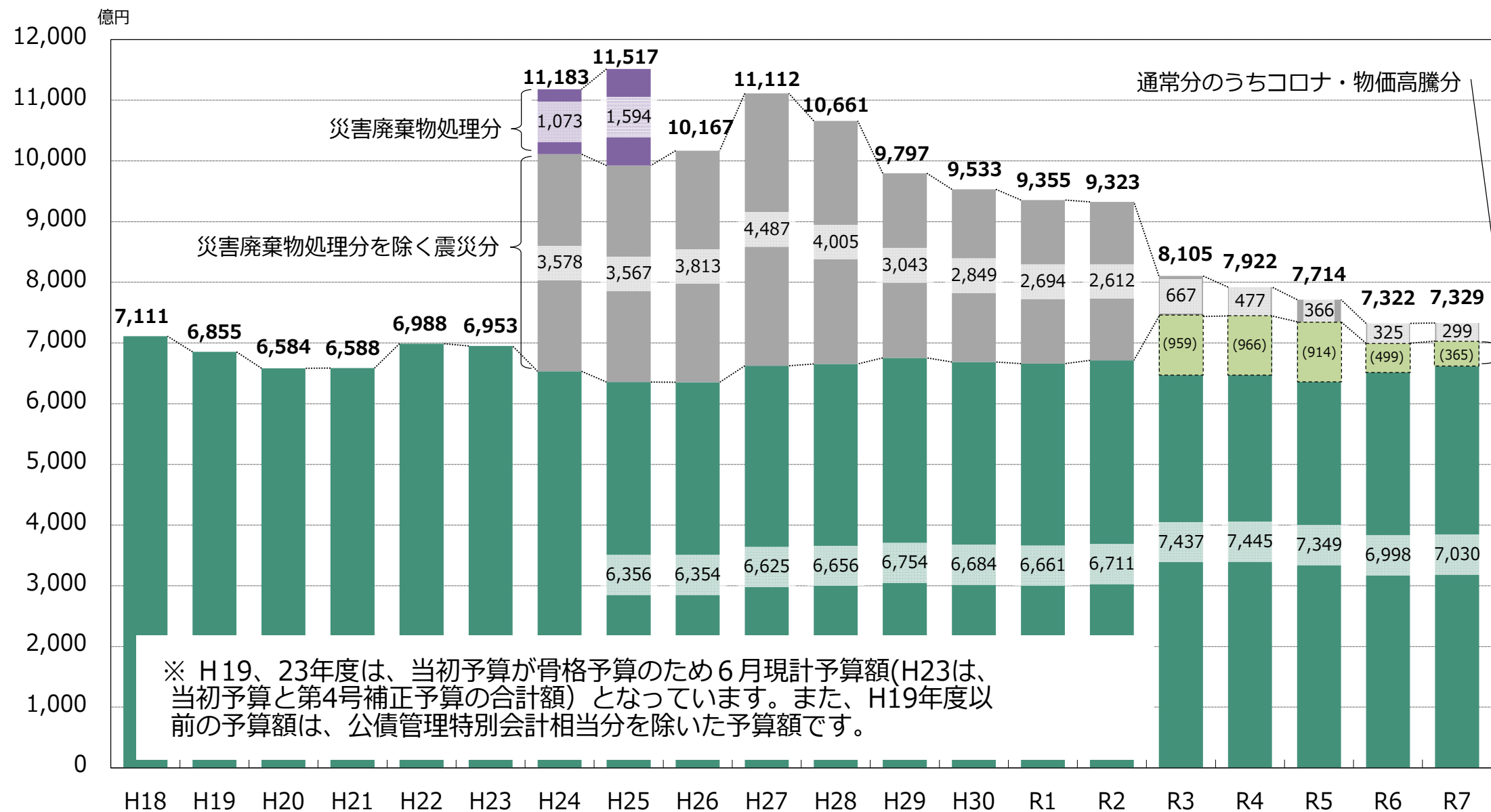
- 「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランのもと、人口の自然減・社会減対策（地方創生）を主軸にしながら、GX（グリーン・トランスフォーメーション）とDX（デジタル・トランスフォーメーション）を両翼に、安全・安心な地域づくりを基盤として、10の政策の着実な推進と「新しい時代を切り拓くプロジェクト」の展開により、お互いに幸福を守り育てる、世界に開かれたいわてを創っていくための施策を盛り込んだ予算を編成
- ・ 全国トップレベルの子育て支援や交流人口・関係人口の拡大、ジェンダーギャップの解消などの自然減・社会減対策、脱炭素化や再生可能エネルギーの導入等を図るGXの推進、デジタル技術を活用してあらゆる分野で利便性や生産性の向上を図るDXの推進等の取組を強化
- ・ 東日本大震災津波の経験や国内で相次ぐ大規模災害を踏まえ、「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震」をはじめとした次の災害への備えや、頻発化するシカやクマなどの野生鳥獣による被害防止対策、救急時などにおける医療提供体制の整備など、様々なリスクに対応し安全・安心な地域づくりを推進する取組を強化
- ・ 国内外から注目される観光資源や農林水産物など本県の強みや魅力を活かしたインバウンドと海外輸出の拡大、小規模町村への支援や市町村との連携の一層の強化、「中山の園」整備や民間と連携した困難を抱える女性支援などセーフティネットの充実、1次産業や半導体産業、介護福祉分野等において求められる人材の確保・育成等を実施
- 東日本大震災津波からの復興に係る事業については、被災者の心のケア、コミュニティ形成支援、伝承・発信等、必要な取組を着実に実施
- 中期財政見通し等を踏まえ、あらゆる歳入確保の取組を実施するとともに、新しい地方経済・生活環境創生交付金や有利な地方債など地方財政措置を最大限活用し、財政目標のもとで財政健全化を着実に推進

2 当初予算の規模

		令和 7 年度	令和 6 年度	増減額	増減率
		億円	億円	億円	%
総額		7,329	7,322	7	0.1
	震災分	299	325	△ 25	△ 7.8
	通常分	7,030	6,998	33	0.5
	うちコロナ・ 物価高騰分	365	499	△ 133	△ 26.8

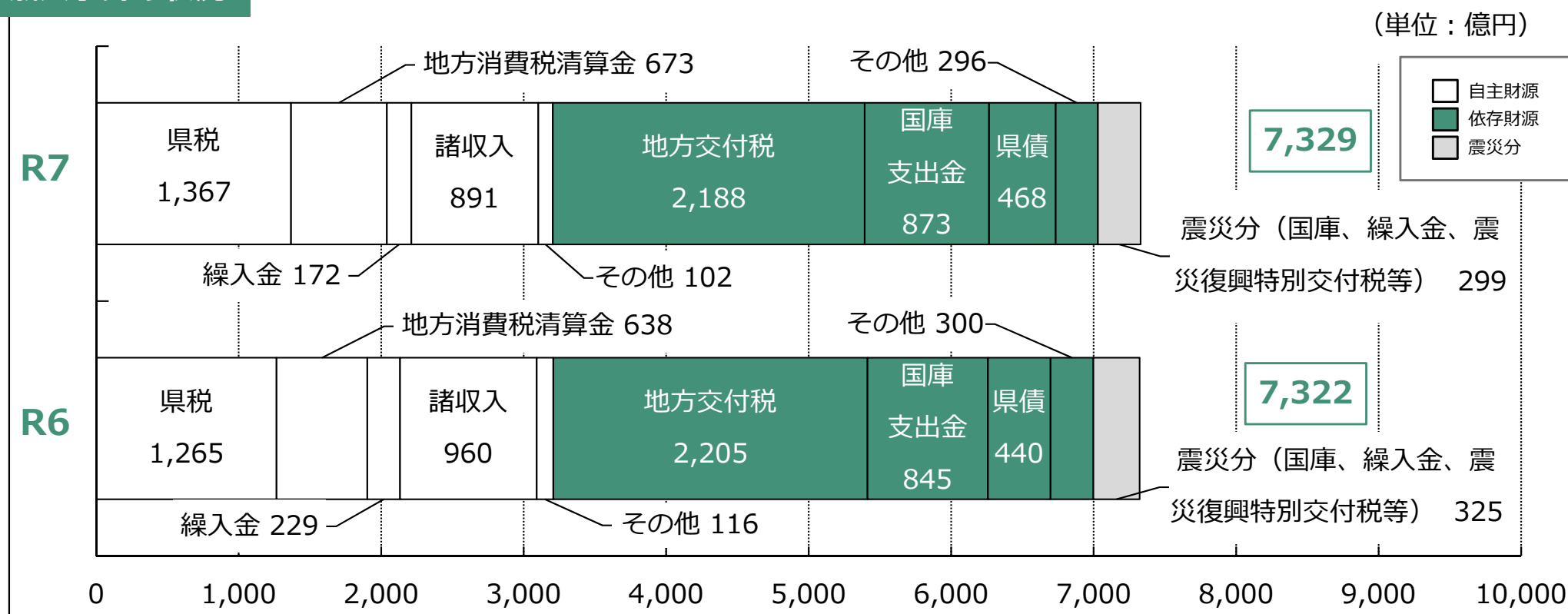
国の補正予算に呼応して編成した令和 6 年度第 9 号補正予算等と一体的に県内経済の活性化を推進。

3 当初予算額の推移



4 歳入予算のポイント

歳入予算の状況



【震災分】

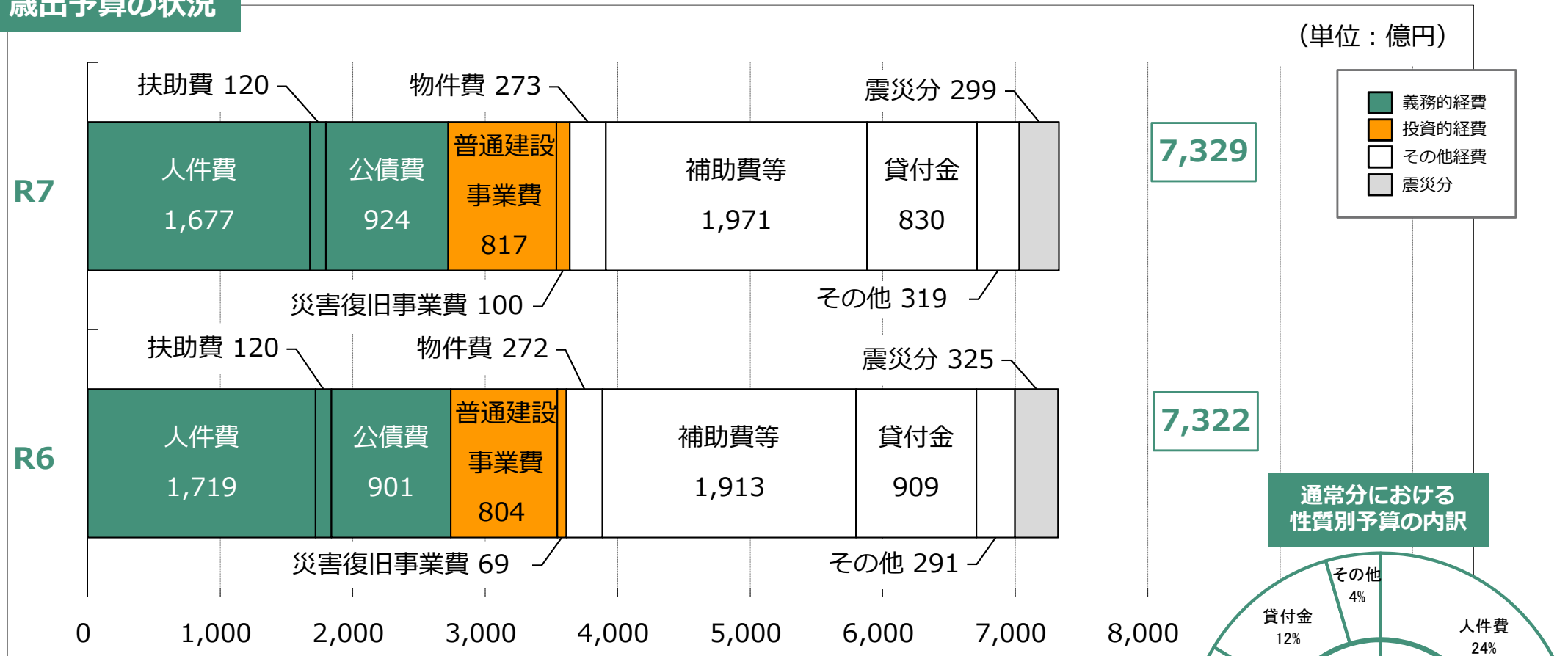
- ・ 諸収入(中小企業東日本大震災復興資金貸付金の元金償還金)等の財源が減少しています。

【通常分】

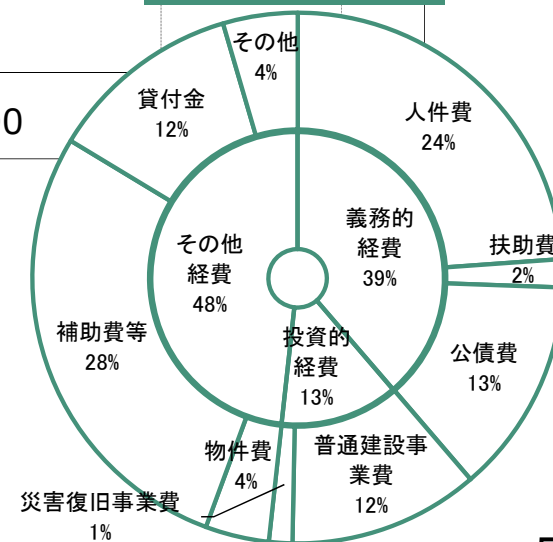
- ・ 県税は、定額減税分の回復による個人県民税の増、法人二税の増などにより、102億円増加しています。
- ・ 地方交付税は、17億円減少し、実質的な交付税である臨時財政対策債も11億円減少（皆減）しています。
- ・ 県税、地方消費税清算金、地方交付税、臨時財政対策債等の合計から税関係交付金等を控除した実質的な一般財源は、69億円増加しています。
- ・ 諸収入は、新型コロナウイルス感染症対応資金貸付金の元金償還金の減等により69億円減少しています。
- ・ 県債は、臨時財政対策債が皆減となった一方、災害復旧事業債の増、公共施設等適正管理推進事業債の増などにより、28億円増加しています。

5 歳出予算のポイント

歳出予算の状況



通常分における性質別予算の内訳



【震災分】

- ・ 中小企業東日本大震災復興資金貸付金が減少したこと等により、全体で25億円減少しています。

【通常分】

- ・ 義務的経費は、退職手当の減等により、19億円減少しています。
- ・ 投資的経費は、災害復旧事業（国道107号等）の増等により、44億円増加しています。
- ・ 物件費は、参議院議員選挙執行費の増等により、1億円増加しています。
- ・ 補助費等は、地方消費税交付金の増等により、58億円増加しています。

6 令和7年度一般会計当初予算（案）における主な取組

ポイント 復興の着実な推進とともに、人口の自然減・社会減対策（地方創生）を主軸にしながら、ジェンダーギャップの解消など一人ひとりの生きにくさを生きやすさに変える取組を進めることで、お互いに幸福を守り育てる、世界に開かれたいわてを創っていく。

～復興の推進～

・安全の確保、暮らしの再建、なりわいの再生、未来のための伝承・発信に基づく取組や、復興道路を生かした新たな産業振興、水産業の再生に係る取組等を推進

4つの重点事項 R6:840億円 → R7:916億円（うち新規分16億円）

① 自然減・社会減対策 R6:221億円 → R7:228億円

一人ひとりの希望に基づく多様なライフステージに応じた支援を強化し、

- ・性別にかかわらず誰もが活躍できる環境の整備
- ・結婚・子育ての支援
- ・移住定住、インバウンド観光・輸出の強化による交流人口拡大

等を推進

② G Xの推進 R6:93億円 → R7:97億円

岩手の優れた自然環境を生かし、

- ・カーボンニュートラル
- ・地域経済と環境に好循環をもたらす持続可能な新しい成長
- ・気候変動への適応

等を推進

③ D Xの推進 R6:51億円 → R7:64億円

岩手県D X推進計画に基づき、

- ・行政、産業、社会・暮らしのD X、D Xを支える基盤整備
- ・D Xによる地域課題の解決

等を推進

④ 安全・安心な地域づくり R6:476億円 → R7:528億円

災害、感染症、交通事故や犯罪などあらゆるリスクへ包括的に対応するため、

- ・防災・減災の主流化（災害への備え）
- ・感染症・家畜伝染病への対応
- ・日常生活のリスク低減

等を推進

※ 複数事項にまたがる事業については、重複して事業費を計上

社会経済情勢等に応じ
施策強化

10の政策分野

I 健康・余暇 R7:770億円	II 家族・子育て R7:219億円
III 教育 R7:182億円	IV 居住環境・コミュニティ R7:53億円
V 安全 R7:57億円	VI 仕事・収入 R7:805億円
VII 歴史・文化 R7:4億円	VIII 自然環境 R7:68億円
IX 社会基盤 R7:610億円	X 参画 R7:19億円

「新しい時代を切り拓くプロジェクト」の展開

・長期的な視点に立って、岩手らしさを生かした新たな価値・サービスの創造などの先導的な取組を展開

広域振興圏の施策の推進

・市町村との連携、地域資源を生かした県北・沿岸振興

・人口減少対策に呼应した取組

・各広域振興圏の特性に合わせた地域課題の解決

（注1）4つの重点事項に係る主な増減理由

・〔自然減・社会減対策〕子ども・子育て支援に係る市町村補助等の増

・〔G Xの推進〕林道整備事業費等の増

・〔D Xの推進〕教育分野におけるICT機器の整備に伴う増

・〔安全・安心な地域づくり〕道路環境改善事業費、河川等災害復旧事業費等の増

（注2）本資料に掲載されている事業は、複数の項目に再掲されている場合がある。

復興の推進に係るポイント

基本的な考え方

○第2期復興推進プランに基づき、復興の目指す姿「いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造」を実現するため、「より良い復興～4本の柱～①安全の確保、②暮らしの再建、③なりわいの再生、④未来のための伝承・発信」のもと、あらゆる世代が希望を持っていきいきと暮らし、将来にわたって持続可能な新しい三陸地域の創造を目指し復興の取組を推進

柱 1 安全の確保 ～防災のまちづくり、交通ネットワーク～

主な事業

- **救助事務費** 40 百万円 [復興防災部]
災害時における被災者の自立・生活再建の早期実現を推進するため、県と市町村で共同運用する「岩手県被災者台帳システム」の更新を実施
- 拡** ○ **個別避難計画作成支援事業費** 2 百万円 [復興防災部]
市町村向け研修会等を実施するとともに、新たに津波避難や医療的ケア児等の専門的な支援を要するケースの計画作成や避難訓練を実施
- **災害マネジメントサイクル推進事業費** 1 百万円 [復興防災部]
被災者一人ひとりに寄り添う「災害ケースマネジメント」を推進するため、検討会議や研修会等を実施
- **地震・津波対策緊急強化事業費** 23 百万円 [復興防災部]
本県最大クラスの津波被害想定を踏まえた沿岸市町村が行う避難対策や自主防災組織の育成・活性化など、犠牲者ゼロを目指す取組に要する経費のうち、国の交付金メニューにないソフト対策を対象に補助を実施（補助率：1/2・2/3、補助対象：市町村）
- **広域防災拠点設備等整備費** 8 百万円 [復興防災部]
大規模災害に備えた防災体制を構築するため、広域防災拠点への食料等を備蓄
- **河川等災害復旧事業費** 6,416 百万円 [県土整備部]
津波防災施設の整備を実施
- 新** ○ **災害時学校支援チーム構築事業費** 2 百万円 [教育委員会]
大規模災害等が発生した際に学校教育の早期再開を支援するため、「災害時学校支援チームいわて（仮称）」を構築

柱 2 暮らしの再建 ～生活・雇用、保健・医療・福祉、教育・文化・スポーツ、地域コミュニティ、市町村行政機能支援～

主 な 事 業		
○ 被災者生活支援事業費	43 百万円	[復興防災部]
いわて被災者支援センターにおいて、経済面や生活設計などの課題を抱える被災者を支援		
○ 被災地こころのケア対策事業費	403 百万円	[保健福祉部]
被災者の精神的負担を軽減するため、「岩手県こころのケアセンター」及び「地域こころのケアセンター」を運営し専門的ケアを実施		
○ 復興の絆を活かした文化芸術による次世代育成事業費	7 百万円	[文化スポーツ部]
東日本大震災津波からの復興の絆を活かし、優れた文化芸術に親しむ機会の充実、発表機会の拡大、人的交流・文化的交流、子どもたちが触れ合う機会を創出		
○ いわての復興教育推進事業費	45 百万円	[教育委員会]
「いわての復興教育」プログラムに基づき全県的な復興教育を推進するとともに、「いわての復興教育」副読本や絵本の英語版により国内外に復興教育を発信		

柱 3 なりわいの再生 ～水産業・農林業、商工業、観光～

主 な 事 業		
拡 ○ 養殖業振興事業費	4 百万円	[農林水産部]
養殖生産量の増大を図るため、アサリ種苗の量産技術の実証試験等を実施するほか、新たに高水温に適応したワカメやヨーロッパヒラガキの種苗生産技術の開発等を実施		
新 ○ マーケットイン型サーモン養殖推進事業費	3 百万円	[農林水産部]
海面養殖サーモンの更なる生産拡大を図るため、高品質かつ高水温等気候変動に対応した新種苗の開発や、サケふ化場等の活用による種苗の効率的な生産体制の構築に向けた技術検証を実施		
拡 ○ 新たな水産資源利活用モデル開発事業費	4 百万円	[農林水産部]
増加している水産資源の有効利用等を図るため、A L P S 処理水の風評被害を受けている水産物の販路・物流モデルの構築等のほか、新たに生産分野と流通・加工分野の連携体制を強化		
○ 海業推進モデル事業費	10 百万円	[農林水産部]
漁村の活性化や交流人口の拡大を図るため、海や漁村の地域資源を活用した海業の理解醸成等に向けたシンポジウムの開催や海業振興計画に基づくビジネスモデルづくりを実施		

柱 3 なりわいの再生 ～水産業・農林業、商工業、観光～ （続き）		
○	沿岸地域基幹産業人材確保支援事業費 水産加工業の人材確保のため、水産加工事業者が実施するD Xの導入及び女性が働きやすい職場環境の整備に要する経費の一部を補助する市町村を支援（補助率：定額、補助対象：市町村）	28 百万円 [復興防災部]
○	いわての魅力まるごと発信強化事業費 三陸地域の周遊・滞在型観光の促進による交流人口の拡大を図るため、民間企業と連携した三陸観光振興プロモーションを実施	13 百万円 [商工労働観光部]
新	○ みちのく潮風トレイル受入態勢強化事業費 地域の観光事業者や行政、DMO等多様な関係者と連携し、地域一体となったみちのく潮風トレイルの受入態勢強化を実施	10 百万円 [商工労働観光部]
新	○ 大規模施設園芸企業誘致促進事業費 沿岸地域の園芸振興や雇用創出を図るため、大規模な園芸施設の企業誘致に向け、市町村と連携した推進体制の整備や、モデル市町村における誘致構想の作成等を実施	3 百万円 [農林水産部]

柱 4 未来のための伝承・発信 ～事実・教訓の伝承、復興情報発信～		
主 な 事 業		
○	東日本大震災津波伝承館管理費 東日本大震災津波伝承館の施設管理、展示解説、企画展示及び震災教育等の事業を実施	121 百万円 [復興防災部]
○	復興情報発信事業費 県内外の多様な主体と連携し復興を推進するため、「復興フォーラム」を開催するとともに、県内震災伝承施設等とのネットワーク化を進め、東日本大震災津波伝承館を拠点とした事実・教訓の伝承・発信、国内外へのいわての復興情報の発信を実施	20 百万円 [復興防災部]
○	震災津波関連資料収集・活用等推進事業費 東日本大震災津波の事実を踏まえた教訓を今後の国内外の防災学習等に生かすため、「いわて震災津波アーカイブ～希望～」に震災津波関連の記録を蓄積し、その活用を促進	3 百万円 [復興防災部]
○	社会教育デジタル活用推進事業費 県立図書館における「いわての復興教育」などのグループ学習の場の提供及び震災・防災に関して県内外へ情報発信を行うため、震災関連資料の収集及び資料のデジタル化を実施	10 百万円 [教育委員会]
○	いわて情報発信強化事業費 「復興の歩みを進める岩手の姿」と「岩手の魅力」を発信し、記憶と教訓の伝承や、復興への継続的な支援につながる広報を展開	8 百万円 [政策企画部]

4つの重点事項に係るポイント

1 自然減・社会減対策

R6 : 221億円 → R7 : 228億円（うち新規分 2 億円）

基本的な考え方

性別にかかわらず誰もが活躍できる環境づくりを進めながら、結婚・子育てや移住・定住など多様なライフステージに応じた支援を強化
令和7年度は、人口問題対策本部会議での議論を踏まえ、以下の方向性の下で少子化対策・社会減対策を展開

「施策の推進ポイント」

ジェンダーギャップの解消

少子化対策の強化の3つの柱

1 有配偶率の向上

＜出会いの機会の確保・創出＞

2 有配偶出生率の向上

＜全国トップレベルの子ども・子育て施策の展開＞

3 女性の社会減対策

＜雇用労働環境の改善と活躍できる環境の創出＞

＜プラスワン＞

広域振興局を
核とした市町村や
地域の状況に応じた
取組の強化

社会減対策の強化の3つの柱

1 多様な雇用の創出、労働環境と所得の向上

＜誰もが働きやすく活躍できる職場環境づくり、海外輸出の促進などによる付加価値額の向上＞

2 いわてとのつながりの維持・強化

＜いわてでの“暮らし”や“働き”の応援と魅力発信＞

3 地域の価値や魅力の発信による交流人口・関係人口の拡大

＜地域の生活文化や自然環境を生かしたインバウンド観光等の拡大・交流の促進＞

少子化対策の強化の3つの柱

1. 有配偶率の向上

主な事業

- 拡** ○ **岩手であい・幸せ応援事業費** **55 百万円** [保健福祉部]
“いきいき岩手”結婚サポートセンターを運営するとともに、市町村との連携強化を担う結婚支援コンシェルジュの配置のほか、新たに婚活スキルアップセミナーを実施するなど、出会いや結婚を希望する県民の総合的な支援を実施
- **いわてで家族になろうよ未来応援事業費** **108 百万円** [保健福祉部]
新婚世帯の新居住居費用等の支援を行う市町村に対し補助を行うとともに、29歳以下の世帯所得500万円未満の新婚世帯に対して、県独自の10万円の上乗せ支給を実施（補助率：1/2・2/3・3/4・定額、補助対象：市町村）
- **ライフデザイン形成支援事業費** **7 百万円** [保健福祉部]
夫婦等のほか、高校生をはじめとする県内の若者に、結婚・妊娠・出産、子育てと仕事などの様々なライフイベントについて積極的に考え、将来のライフデザインを希望を持って描く機会を提供するためセミナーのほか、仕事、妊娠・出産、子育てをはじめとするライフプランに関する知識の普及啓発等を実施

2. 有配偶出生率の向上

主な事業

- 拡** ○ **妊産婦支援事業費** **23 百万円** [保健福祉部]
妊産婦の通院等に対し支援する市町村への補助（補助率：1/2・3/4、補助対象：市町村）について、支給上限額を10万円に引上げ
- **市町村少子化対策支援事業費** **54 百万円** [保健福祉部]
市町村が行う産後ケア等の利用促進や、子どもの遊び場整備に要する経費を補助（補助率：定額、補助対象：市町村）するとともに、モデル的に分野横断で少子化対策に取り組む町村が行う地域課題の分析等に対して伴走型支援を実施
- **いわて子育て応援保育料無償化事業費補助** **614 百万円** [保健福祉部]
市町村が、幼児教育・保育の無償化の対象とならない第2子以降の3歳未満児の保育料を無償化する場合に要する経費を補助し、子育て世帯の経済的負担を軽減（補助率：1/2、補助対象：市町村）
- **いわて子育て応援在宅育児支援金** **100 百万円** [保健福祉部]
市町村が、保育所等を利用しない生後2か月から3歳未満の第2子以降の子を養育する世帯に対し、在宅育児に係る支援金を支給する場合に要する経費を補助し、子育て世帯の経済的負担を軽減（補助率：1/2、補助対象：市町村）

少子化対策の強化の3つの柱（続き）

3. 女性の社会減対策

主な事業

- 新** ○ **固定的性別役割分担意識解消促進事業費** **3 百万円** [環境生活部]
企業や地域等における固定的性別役割分担意識の解消に向け、外部専門人材による講演会や出張セミナーなどを開催
- **いわて家事・育児シェア普及推進事業費** **3 百万円** [環境生活部]
家庭における固定的性別役割分担意識を解消し、男女が協力して家事・育児を行う意識醸成を図るため、公民連携による啓発キャンペーン等を実施
- 拡** ○ **いわて女性活躍支援強化事業費** **5 百万円** [環境生活部]
女性が働きやすい職場環境づくりを促進するため、いわて女性活躍企業等認定制度の普及や経営者向けセミナー開催のほか、新たに職場での女性活躍推進を牽引するキーパーソン養成セミナーを実施
- **いわて女性デジタル人材育成プロジェクト事業費** **16 百万円** [環境生活部]
女性の多様で柔軟な働き方の推進及び所得向上を図るため、デジタル分野で即戦力として活躍できるスキル取得と就労を支援
- 拡** ○ **いわて働き方改革加速化推進事業費** **10 百万円** [商工労働観光部]
県内企業における働き方改革の促進や生産性向上、ジェンダーギャップの解消等を推進するため、労働環境の整備と処遇改善に向けた取組を支援するとともに、若者や女性などに魅力ある職場環境づくりに向けて、新たに企業における従業員エンゲージメントを高める取組を支援
- **若者・女性創業支援資金貸付金** **592 百万円** [商工労働観光部]
若者（39歳以下）又は女性の新規創業者に対して、開業に必要な資金を貸付（新規融資枠を拡大）
- 拡** ○ **魅力ある職場づくり推進事業費** **10 百万円** [商工労働観光部]
ジェンダーギャップ解消の取組を促進し、若者や女性などに魅力ある雇用・労働環境の整備の促進を図るため、所定内労働時間の短縮や子育てしやすい環境整備に加え、新たに、リスキング推進の取組に対する支援を強化（補助率：定額（新たに、3 区分以上の取組を実施する事業所は補助上限額を引き上げ）、補助対象：中小企業等）
- 拡** ○ **未来のものづくり人材育成・地元定着促進事業費** **26 百万円** [商工労働観光部]
地域ものづくりネットワーク等を中心とした各段階に応じた人材育成を推進するとともに、新たに女子中高生等を対象にものづくり企業で活躍する女性社員等との意見交換を実施するなど、ジェンダーバイアスの解消を図りながら、ものづくり産業への進路選択や就職につなげる取組を推進
- 拡** ○ **幸せ創る女性農林漁業者育成事業費** **9 百万円** [農林水産部]
女性が働きやすい環境整備や女性グループの経営力・自主企画力向上に向けた取組などを支援するほか、新たにアンコンシャス・バイアスの解消に向けた若者との協働等による女性漁業者の情報発信等を実施

社会減対策の強化の3つの柱

1. 多様な雇用の創出、労働環境と所得の向上

主な事業

- 新** ○ **介護人材確保事業費（介護生産性向上推進総合事業費）** **14 百万円** [保健福祉部]
介護人材不足に対応し、介護サービスの質の向上につなげていくため、地域課題等について共有・意見交換する会議を開催するとともに、業務改善等の相談や支援等にワンストップで対応する「介護生産性向上総合相談センター（仮称）」を設置
- 拡** ○ **いわて働き方改革加速化推進事業費** **10 百万円** [商工労働観光部]
県内企業における働き方改革の促進や生産性向上、ジェンダーギャップの解消等を推進するため、労働環境の整備と処遇改善に向けた取組を支援するとともに、若者や女性などに魅力ある職場環境づくりに向けて、新たに企業における従業員エンゲージメントを高める取組を支援
- 拡** ○ **魅力ある職場づくり推進事業費** **10 百万円** [商工労働観光部]
ジェンダーギャップ解消の取組を促進し、若者や女性などに魅力ある雇用・労働環境の整備の促進を図るため、所定内労働時間の短縮や子育てしやすい環境整備に加え、新たに、リスキング推進の取組に対する支援を強化（補助率：定額（新たに、3 区分以上の取組を実施する事業所は補助上限額を引き上げ）、補助対象：中小企業等）
- **中小企業者等賃上げ環境整備支援事業費補助** **100 百万円** [商工労働観光部]
経営革新計画に基づいて生産性の向上を図り、適切かつ円滑な価格転嫁や賃上げのための環境整備に取り組む県内中小企業等に対して、設備投資・人材育成等に係る経費の一部を補助（補助率：定額、補助対象：県内中小企業者）
- 新** ○ **半導体関連人材育成推進事業費** **16 百万円** [商工労働観光部]
令和 7 年 4 月に開所予定の半導体関連人材育成施設を活用し、半導体関連企業や参入を希望する地場企業の従業員のほか、大学生や高専生、小中高生など幅広い世代を対象とした人材育成・確保の取組を推進
- 拡** ○ **起業・スタートアップ推進事業費** **12 百万円** [商工労働観光部]
「いわてスタートアップ推進プラットフォーム」による関係機関の連携を通じ、地域経済の新たな担い手となる起業家の成長を支援するとともに、新たに県内スタートアップ企業と海外ベンチャーキャピタルとの連携を促進
- 拡** ○ **海外輸出力強化事業費** **41 百万円** [商工労働観光部]
海外における県産品の販路を拡大するため、プロモーションの展開先を拡充し、県内企業の海外ビジネス展開を支援
- 新** ○ **多様な農業人材確保推進事業費** **6 百万円** [農林水産部]
地域農業の中核となる経営体の雇用を確保するため、シニア世代等の短期雇用人材の確保に向けた労働力マッチングアプリの活用支援や、外国人材の受入れに向けた就労環境整備等に関する研修会を開催
- 新** ○ **畜産物輸出コンソーシアム推進対策事業費補助** **98 百万円** [農林水産部]
畜産物（牛肉・鶏肉・乳製品）の輸出拡大を図るため、コンソーシアム（畜産物の生産から輸出まで一貫して輸出促進を図る体制）が実施する商談・プロモーション、輸出先国の基準に対応するための取組等を支援（補助率：定額、補助対象：協議会等）

社会減対策の強化の3つの柱（続き）

2. いわてとのつながりの維持・強化

主な事業

- 拡** ○ **いわて就業促進事業費** **101 百万円** [商工労働観光部]
県内企業と求職者やU・Iターン希望者とのマッチング支援、県内企業によるインターンシップの実施に対する支援等を行うほか、新たに外国人インターンシップの受入費用を補助する市町村を支援（補助率：定額、補助対象：県内中小企業・市町村）
- **いわて暮らし応援事業費** **211 百万円** [商工労働観光部]
U・Iターンを促進するため、移住支援金の支給等の取組を実施するにあたり、新卒学生に対する支援や子育て世帯及び若者・女性に対する支給額加算を実施するとともに、首都圏等からの移住者の起業を支援（補助率：3/4・定額等、補助対象：市町村・移住者等）
- 新** ○ **ものづくり高度人材の県内就職・確保促進事業費** **8 百万円** [商工労働観光部]
ものづくり産業を支える高度人材を確保するため、進学希望の高校生や県内外の大学生の県内企業への理解を促進するほか、県内ものづくり企業と求職者のマッチング機会を創出することにより、県内就職及びU・Iターンを促進
- **いわてターン促進事業費** **4 百万円** [商工労働観光部]
地方移住への関心の高まりを本県へのU・Iターンにつなげるため、県内において帰省者や岩手ファンに向けたプロモーションを実施
- **いわてニューファーマー支援事業費** **445 百万円** [農林水産部]
新規就農者の確保・定着を図るため、就農前の研修や就農直後の経営確立のための資金を交付するほか、経営発展に必要な機械・施設等の導入を支援（補助率：定額、補助対象：就農希望者、認定新規就農者等）
- 拡** ○ **農林水産就業支援事業費** **6 百万円** [農林水産部]
メタバースを活用した就業相談会の対象を農業に加え、林業や漁業に拡大するとともに、新たにリモート就農体験ツアーを開催するほか、県外飲食店等を対象にメタバースを活用した商談会を開催
- **いわて移住・雇用就農促進事業費** **3 百万円** [農林水産部]
農業の新たな担い手の確保・育成を図るため、本県への雇用就農希望者に対し、移住・定住を通じた農業法人等への雇用就農を支援
- 拡** ○ **いわてお試し居住体験事業費** **35 百万円** [県土整備部]
本県への移住・定住の促進を図るため、県外からの移住希望者や新たに農林水産業等の担い手を目指す者に対して家電等を整備した県営住宅を低廉な家賃で提供
- **若者・移住者空き家住まい支援事業費補助** **4 百万円** [県土整備部]
若者世代及び県外からの移住希望者を対象に、市町村の「空き家バンク」に登録された空き家の取得・改修費用等に補助する経費に対する上乗せ補助を実施（補助率：定額、補助対象：市町村）

社会減対策の強化の3つの柱（続き）

3. 地域の価値や魅力の発信による交流人口・関係人口の拡大

主な事業

- **地域おこし協力隊活動支援事業費** **3 百万円** [ふるさと振興部]
地域おこし協力隊経験者等を核としたネットワークや市町村と連携し、合同での募集説明会を開催するなど地域おこし協力隊の受入拡大、活動の充実及び任期終了後の定着に向けた取組を実施
- 拡** ○ **人口減少対応型関係人口推進事業費** **9 百万円** [ふるさと振興部]
岩手でスキルを生かしたい複業人材と企業等とのマッチング等を実施するなど「関係人口」の量的・質的な拡大を図るほか、新たに県北・沿岸地域で「人口減少対策フォーラム」を開催し、男女・世代・地域間のアンコンシャス・バイアスを解消する取組を実施
- **北上川バレープロジェクト推進事業費** **3 百万円** [ふるさと振興部]
北上川バレーエリアの魅力を広く県内外に発信するとともに、アドバイザーボードや構成市町との連携を図り、より一層「働きやすく、暮らしやすい」エリアとする取組を実施
- 新** ○ **三陸総合振興体制構築支援事業費** **14 百万円** [ふるさと振興部]
公益財団法人さんりく基金との連携により、三陸の観光産業等の振興を図る新体制構築に向けた検討等の取組を実施
- 新** ○ **北海道・東北ブロック民俗芸能大会開催費** **6 百万円** [文化スポーツ部]
民俗芸能の保存・継承活動を促進するため、「第67回北海道・東北ブロック民俗芸能大会」を開催
- 新** ○ **大阪・関西万博東北合同出展事業費** **21 百万円** [商工労働観光部]
東北の自治体及び東北観光推進機構と連携し、大阪・関西万博に東北PRブースを出展
- 新** ○ **みちのく潮風トレイル受入態勢強化事業費** **10 百万円** [商工労働観光部]
地域の観光事業者や行政、DMO等多様な関係者と連携し、地域一体となったみちのく潮風トレイルの受入態勢強化を実施
- **インバウンド消費拡大推進事業費** **6 百万円** [商工労働観光部]
訪日外国人等に対する伝統工芸品をはじめとする県産品等のプロモーションを通じたインバウンド消費拡大を推進
- 新** ○ **農山漁村体験受入体制強化対策事業費** **3 百万円** [農林水産部]
教育旅行やインバウンド等の多様なニーズに対応できる受入体制を強化するため、各地域における協議会での受入体制強化プランの策定支援や、モデル地区における広域連携計画策定等を実施
- 拡** ○ **クルーズ船誘致プロモーション事業費** **8 百万円** [県土整備部]
観光資源など「岩手の魅力」を知っていただくモニターツアーを新たに実施するなどし、国内外の船社等を対象としたプロモーションを強化

自然減・社会減対策のプラスワン

市町村や地域の状況に応じた取組の強化

主な事業

- **地域経営推進費** **470 百万円** [ふるさと振興部]
広域振興局が各地域の地域振興や地域課題の解決に向け、きめ細かな事業を実施するとともに、現場主義に立脚した完結性の高い広域行政等に向けた市町村の取組の支援に加え、市町村との更なる連携の強化を図り市町村が行う人口減少対策等の取組を支援
- **活力ある小集落支援推進事業費** **2 百万円** [ふるさと振興部]
将来にわたり持続可能な地域コミュニティの実現に向けて、買い物等の移動手段やコミュニティ再生等、地域の課題解決に向けた住民主体の取組を促進
- **市町村間連携支援事業費** **1 百万円** [ふるさと振興部]
市町村が持続可能で安定的な行政サービスを提供するため、職員合同就職セミナーの開催や共同採用など、市町村が行う人材確保の取組を支援
- 拡** ○ **妊産婦支援事業費** **23 百万円** [保健福祉部]
妊産婦の通院等に対し支援する市町村への補助（補助率：1/2・3/4、補助対象：市町村）について、支給上限額を10万円に引上げ
- 拡** ○ **保育対策総合支援事業費** **291 百万円** [保健福祉部]
保育所等における医療的ケア児の受入れ体制整備、指定保育士養成施設の学生に対する修学資金の貸付（貸付枠を45名に拡充、就職活動準備金貸付の新設）に要する経費の補助（補助率：1/4・7/8・10/10・定額、補助対象：市町村、岩手県社会福祉協議会）等を実施
- **地域子ども・子育て支援事業交付金** **2,230 百万円** [保健福祉部]
地域の子ども・子育て支援充実のため、市町村が行う放課後児童健全育成事業や一時預かり事業等に要する経費を補助（補助率：1/6・1/3、補助対象：市町村）
- 拡** ○ **アパレル・漆等いわて価値創造産業支援事業費** **6 百万円** [商工労働観光部]
学生と事業者の交流等を通じ、若者・女性が活躍できる産業としての魅力の発信を行い、人材の確保、育成を図る取組について、アパレルのほか、漆産業等にも対象を拡大
- 新** ○ **農山漁村体験受入体制強化対策事業費** **3 百万円** [農林水産部]
教育旅行やインバウンド等の多様なニーズに対応できる受入体制を強化するため、各地域における協議会での受入体制強化プランの策定支援や、モデル地区における広域連携計画策定等を実施
- **海業推進モデル事業費** **10 百万円** [農林水産部]
漁村の活性化や交流人口の拡大を図るため、海や漁村の地域資源を活用した海業の理解醸成等に向けたシンポジウムの開催や海業振興計画に基づくビジネスモデルづくりを実施

※ 参考（岩手県立病院等事業会計への繰出金）

地域医療を守り、広大な県土で医療を提供するため、令和7年度においても、**一般会計から220億円余**を県立病院等事業会計へ繰出し

基本的な考え方 ～持続可能な新しい成長を目指しながら、誰もが住みたいと思えるふるさとを次世代に引き継いでいきます。～

省エネルギー対策の推進、再生可能エネルギーの導入促進、森林吸収・気候変動への適応など、地域経済と環境に好循環をもたらす持続可能な新しい成長を促進

省エネルギー対策の推進

主な事業

- **脱炭素化推進事業費** **290 百万円** [環境生活部]
脱炭素化に向けた県民・事業者・市町村等の各主体における取組の促進や、事業者への省エネ設備導入補助（補助率：定額、補助対象：県内の事業者）等を行うほか、県有施設への太陽光発電設備やLED照明の導入などを推進
- **EV等普及促進事業費** **81 百万円** [環境生活部]
運輸部門の脱炭素化の取組を促進するため、タクシー・バスのEV、PHV等の導入や充電インフラ整備に要する経費を補助（補助率：定額、補助対象：県内の事業者）
- **いわてZEHプラス住宅等普及促進事業費** **40 百万円** [県土整備部]
2050年カーボンニュートラルの実現に向け、ZEH＋水準を満たす住宅の建設等に要する経費の補助等を実施（補助率：定額、補助対象：住宅の所有者等）

再生可能エネルギーの導入促進

主な事業

- **海洋エネルギー関連産業創出推進事業費** **4 百万円** [ふるさと振興部]
海洋再生可能エネルギー発電の事業化に向け、ビジョンの策定や各地域の状況に応じた官民が連携した推進体制の構築等を実施
- **再生可能エネルギー導入促進事業費** **138 百万円** [環境生活部]
エネルギーの地産地消に向け、市町村の実行計画策定等に対する支援のほか、事業者の自家消費型の太陽光発電設備の導入に要する経費を補助（補助率：定額、補助対象：市町村、県内の事業者）
- **水素利活用推進事業費** **7 百万円** [環境生活部]
水素利活用に関する県民や事業者等への理解促進を図るとともに、再生可能エネルギーを活用した水素の利活用に向けた取組等を実施

2 G Xの推進

森林吸収・気候変動への適応など

主な事業

- **北いわてバイオマス資源活用推進事業費** **3 百万円** [ふるさと振興部]
北いわてにおける循環型社会の形成に向け、木質バイオマス資源等を活用した地域経済循環モデルの構築を支援
- **いわて戦略的 D X・G X 等研究開発推進事業費** **39 百万円** [ふるさと振興部]
D X・G X に関する将来有望な研究シーズの育成や事業化に結び付く研究開発の支援、知的財産の実用化に向けた研究開発の支援を実施
- **北いわてグリーン農業人材育成事業費** **3 百万円** [農林水産部]
県北地域の特性を生かした本県農業の持続的な発展を図るため、県北農業研究所を拠点に、環境負荷を低減する農業の実践者を育成する「いわてグリーン農業アカデミー」の運営等を実施
- **地球温暖化適応品種開発プロジェクト事業費** **17 百万円** [農林水産部]
地球温暖化等に対応した持続的な農業生産の実現を図るため、気候変動や環境保全に対応した水稻、果樹、花き等の品種開発や、低コストで導入可能な果樹の凍霜害対策の実証試験を実施
- 新** ○ **高温登熟耐性検定施設整備事業費** **33 百万円** [農林水産部]
気候変動に対応した高温登熟耐性水稻品種の開発の加速化を図るため、高温登熟環境を高精度に再現できる栽培評価施設を整備
- 拡** ○ **いわてみどりの食料システム戦略推進事業費** **46 百万円** [農林水産部]
「みどりの食料システム戦略」に基づく持続可能な農業を推進するため、栽培体系のグリーン化や有機農業の導入、国際水準 G A P の取組等を支援するほか、新たに水田除草省力化技術の実証を実施（補助率：定額、補助対象：協議会等）
- **いわての森林づくり推進事業費（いわて環境の森整備事業費）** **600 百万円** [農林水産部]
森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、公益上重要な森林において、針葉樹と広葉樹の混交林化を進める強度間伐や伐採跡地への植栽のほか、森林整備に必要な作業道の開設や気象被害を受けた森林の整備等を支援（補助率：10/10等、補助対象：林業事業体等）
- 拡** ○ **養殖業振興事業費** **4 百万円** [農林水産部]
養殖生産量の増大を図るため、アサリ種苗の量産技術の実証試験等を実施するほか、新たに高水温に適応したワカメやヨーロッパヒラガキの種苗生産技術の開発等を実施
- **水産環境整備事業費** **366 百万円** [農林水産部]
水産資源の増大、水産物の安定供給を図るため、アワビやヤリイカなど水産動植物の生息場となる藻場等を造成

※ 県有施設の脱炭素化について

「県有施設等の脱炭素化に向けた基本方針」に基づき、ZEB化や、太陽光発電設備・L E D・E V 車等の導入に係る事業費として、総額**1,827百万円**を計上

3 D Xの推進

R 6 : 51億円 → R 7 : 64億円（うち新規分11億円）

基本的な考え方 ～人口減少など地域が抱える社会問題の解決に寄与し、個性豊かで活力に満ちた地域をつくります。～

全ての県民がD Xの恩恵を享受できるよう、**4つの取組方針**のもと、あらゆる**分野のD Xの促進、県民生活の利便性の向上、情報通信インフラの整備**を進めるとともに市町村を支援

① 行政のD X

主 な 事 業

- **いわてデジタル化推進費** **29 百万円** [ふるさと振興部]
デジタル社会の実現に向け、産学官金が連携したD Xの取組の推進、デジタル人材の確保・育成等を実施するとともに、行政D Xの推進に向け、データ活用やオープンデータ化の取組を実施
- **市町村行政デジタル化支援事業費** **6 百万円** [ふるさと振興部]
市町村における行政手続のオンライン化の推進に向け、電子申請システムの共同利用を促進し、住民サービスの向上を図る取組の支援を実施
- 新** ○ **生成型A I 利活用基盤構築事業費** **2 百万円** [ふるさと振興部]
持続可能な行政サービスを提供するため、生成型A Iを活用した業務の変革を促進する環境構築を実施
- **情報化設備整備費（職員ひとり一台端末等管理運営費）** **235 百万円** [ふるさと振興部]
次期文書作成ソフトへの移行に伴うライセンス調達及び利用環境構築、L G W A N・マイナンバー系端末等の更新等を実施

② 産業のD X

主 な 事 業

- **いわて女性デジタル人材育成プロジェクト事業費** **16 百万円** [環境生活部]
女性の多様で柔軟な働き方の推進及び所得向上を図るため、デジタル分野で即戦力として活躍できるスキル取得と就労を支援
- 拡** ○ **ものづくりA I 活用人材育成事業費** **11 百万円** [商工労働観光部]
社会経済環境の変化に対応したものづくり産業の生産性・付加価値向上の加速化のため、これまでの基礎的なA I（判別）に加え、新たに高度なA I（物体検知）の導入支援に取り組み、企業のA I活用人材育成を産学官連携により推進
- **データ駆動型農業推進事業費** **11 百万円** [農林水産部]
収益性の高い農業の実現と労働力不足の克服を図るため、データ駆動型農業技術の開発・実証や普及推進体制の強化を実施
- **建設D X推進事業費補助** **12 百万円** [県土整備部]
建設企業の働き方改革や生産性の向上を図るため、バックオフィスのD X推進やI C T機器の導入等に要する経費を補助（補助率：1/2・定額、補助対象：建設企業等）

3 D Xの推進

③ 社会・暮らしのD X

主な事業

- **避難所運営デジタル化実証事業費** **5 百万円** [復興防災部]
市町村における被災者把握システムの実装を進めるため、デジタル技術を活用した避難所受付の効率化や避難所外被災者の把握等に関する実証実験を実施
- **健幸づくりプロジェクト推進費** **16 百万円** [保健福祉部]
医療等ビッグデータの分析結果等を活用し、データに基づく市町村支援や県民への情報発信など、健康寿命の延伸に向けた取組を実施
- 拡** ○ **小児科救急医療体制整備事業費** **128 百万円** [保健福祉部]
小児医療に係る中核的な病院を遠隔支援システムで結び、小児科専門医の診断助言を受けることのできる体制を整備するとともに、新たに現行のテレビ会議システムとウェアラブル端末を連携し、遠隔で現場の医師等に助言できる仕組みを構築
- 新** ○ **学校教育D X推進事業費（公立学校情報機器整備事業費）** **992 百万円** [教育委員会]
G I G Aスクール構想により整備された義務教育段階の県立学校における児童生徒 1 人 1 台端末の更新を実施するとともに、市町村に対し端末更新に要する経費を補助（補助率：2/3、補助対象：市町村）
- 新** ○ **電子収納システム運営費** **16 百万円** [出納局]
県民の利便性向上と公金収納事務の効率化等を図るため、eLTAXを活用した公金収納を令和 8 年度に開始できるよう所要のシステム整備を実施

④ D Xを支える基盤整備

主な事業

- **携帯電話等エリア整備事業費補助** **9 百万円** [ふるさと振興部]
携帯電話の利用可能地域の拡大を促進するため、市町村が実施する基地局の整備に要する経費を補助（補助率：1/2、補助対象：市町村）
- **いわて戦略的D X・G X等研究開発推進事業費** **39 百万円** [ふるさと振興部]
D X・G Xに関する将来有望な研究シーズの育成や事業化に結び付く研究開発の支援、知的財産の実用化に向けた研究開発の支援を実施

基本的な考え方 ～「住みたい、働きたい、帰りたい、訪れたい」と思える安全・安心な岩手をつくります。～

災害や感染症のような危機事象はもちろん、日常生活に潜む交通事故や犯罪などあらゆるリスクに包括的に対応するため、
県民一人ひとりが意識や行動、仕組みに防災・減災、交通安全、防犯等を反映することが当たり前となる地域社会の構築を目指す

① 防災・減災の主流化（災害への備え）

主な事業

- **避難所運営デジタル化実証事業費** 5 百万円 [復興防災部]
市町村における被災者把握システムの実装を進めるため、デジタル技術を活用した避難所受付の効率化や避難所外被災者の把握等に関する実証実験を実施
- 拡** ○ **個別避難計画作成支援事業費** 2 百万円 [復興防災部]
市町村向け研修会等を実施するとともに、新たに津波避難や医療的ケア児等の専門的な支援を要するケースの計画作成や避難訓練を実施
- **農村地域防災減災事業費** 855 百万円 [農林水産部]
施設の機能回復や災害の未然防止のため、地域の実情に即した農業用施設の整備や保全等を総合的に実施
- **河川改修事業費** 4,158 百万円 [県土整備部]
洪水被害の防止・軽減を図るため、浸水被害が生ずるおそれがある河川の改修等を実施
- **河川等災害復旧事業費** 7,887 百万円 [県土整備部]
被災した河川、道路等の公共土木施設の災害復旧を実施
- **地域連携道路整備事業費** 6,195 百万円 [県土整備部]
災害に強い道路ネットワークの構築とともに、物流の効率化や観光振興を図るため、緊急輸送道路や物流の基盤となる道路、観光振興に資する道路等の整備を実施
- **道路環境改善事業費** 13,134 百万円 [県土整備部]
安全で安心な道路交通を確保するため、橋りょうの耐震化や道路災害対策等を実施
- **道路・河川等維持管理事業費** 13,102 百万円 [県土整備部]
社会資本の長寿命化を図るため、道路や河川等の適切な維持管理を実施
- **都市防災総合推進事業費** 75 百万円 [県土整備部]
盛土等による災害から県民の生命・財産を守るため、不法・危険盛土の監視等を実施
- 新** ○ **災害時学校支援チーム構築事業費** 2 百万円 [教育委員会]
大規模災害等が発生した際に学校教育の早期再開を支援するため、「災害時学校支援チームいわて（仮称）」を構築

4 安全・安心な地域づくり

②感染症・家畜伝染病への対応

主な事業

- | | | | |
|---|---|----------------|---------|
| ○ | 感染症等健康危機管理体制強化事業費
感染症発生時の対応策等の検討、疫学専門チームの派遣、訓練及び発生に備えた研修・訓練等を実施 | 3 百万円 | [保健福祉部] |
| ○ | 豚熱予防的ワクチン接種事業費
養豚農場における豚熱の発生防止を図るため、飼養豚への豚熱ワクチン接種及び免疫獲得状況調査を実施 | 155 百万円 | [農林水産部] |
| ○ | 家畜伝染病予防費
高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の発生予防のため、飼養衛生管理の指導や定期的なモニタリング検査等を実施 | 83 百万円 | [農林水産部] |

③日常生活のリスク低減

主な事業

- | | | | |
|----------|--|----------------|---------|
| 新 | ○ 犯罪被害者等支援推進事業費
犯罪被害者等支援条例を踏まえ、コーディネーターを設置し支援体制を強化するとともに、人材育成及び県民への啓発を実施 | 3 百万円 | [復興防災部] |
| 新 | ○ 救急安心センター事業運営費
医療機関の受診や救急車の要請に迷う場合に看護師等が相談に応じる専用ダイヤル（＃7119）を設置 | 26 百万円 | [保健福祉部] |
| 新 | ○ 官民協働による困難を抱えた若年女性等支援事業費
予期せぬ妊娠等により様々な困難を抱えた若年女性等について、SNSなどの相談対応、専門的な支援を要する場合の一時的な居場所の提供等の支援を民間団体との協働により実施 | 10 百万円 | [保健福祉部] |
| 新 | ○ 指定管理鳥獣対策事業費（ツキノワグマ総合対策）
ツキノワグマによる人身被害を防止するため、捕獲による個体数管理や全県での生息数調査を実施 | 56 百万円 | [環境生活部] |
| 拡 | ○ ツキノワグマ被害防止対策事業費
ツキノワグマによる人身被害を防止するため、市街地出没訓練や啓発のほか、新たに知見を有する専門家人材との連携強化による取組を推進 | 7 百万円 | [環境生活部] |
| 新 | ○ ニホンザル対策調査事業費
ニホンザルによる農作物被害等を防止するため、生息状況調査を実施するほか、専門家会議を開催 | 8 百万円 | [環境生活部] |
| 拡 | ○ 鳥獣被害防止総合対策事業費
有害鳥獣の捕獲や電気柵等の侵入防止柵の設置などを支援するとともに、食肉加工を目的とするニホンジカの放射性物質検査を実施するほか、新たに有害性の高い問題個体を捕獲するクマ特別対策事業に要する経費を補助（補助率：定額等、補助対象：協議会等） | 382 百万円 | [農林水産部] |
| 新 | ○ 鳥獣被害防止総合対策事業費（スマート捕獲等普及加速化事業費補助）
I C T 機器等を活用した被害防止技術の実証に要する経費を補助（補助率：定額、補助対象：協議会等） | 12 百万円 | [農林水産部] |
| | ○ 特殊詐欺被害予防対策費
特殊詐欺等被害防止のため、テレビコマーシャル等を活用した効果的な広報啓発活動を強力に推進 | 13 百万円 | [警察本部] |

10の政策分野のポイント

I

健康・余暇

～健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、
また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手～

R7：770億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策等を除く。

取組の方向性とポイント

- 働き盛り世代、高齢者、女性、子どもなど**対象に応じた重点的対策**や**相談支援体制の充実強化等官民一体で自殺対策**を推進
- 勤務環境改善等**による医師・看護師確保、**質の高い医療提供体制**の構築により、必要に応じた医療を受けることができる体制を充実
- 関係機関等との連携・協力により**介護現場の業務改善・業務効率化等**を推進
- 年齢や障がいの有無にかかわらず、**県民が文化・スポーツを楽しむ機会**を充実

主 な 事 業			
	○ 自殺対策緊急強化事業費	110 百万円	[保健福祉部]
新	○ 勤務環境改善医師派遣等推進事業費補助 長時間労働医師が所属する医療機関への医師派遣を行う医療機関等に対する支援を実施（補助率：定額、補助対象：派遣受入及び医師派遣医療機関）	54 百万円	[保健福祉部]
拡	○ 小児科救急医療体制整備事業費 小児救急医療体制を確保するため、連携支援システムで新たに遠隔で現場の医師等に助言できる仕組みを構築するほか、電話相談等の委託及び受入体制整備に対する補助を実施（補助率：10/10、補助対象：盛岡赤十字病院、盛岡医療センター）	128 百万円	[保健福祉部]
新	○ 救急安心センター事業運営費 医療機関の受診や救急車の要請に迷う場合に看護師等が相談に応じる専用ダイヤル（＃7119）を設置	26 百万円	[保健福祉部]
拡	○ 重度心身障がい者（児）医療助成費 新たに精神障害者保健福祉手帳 1 級所持者を対象とするなど、市町村が行う重度心身障がい者（児）への医療費助成に要する経費を補助（補助率：1/2、補助対象、市町村）	1,299 百万円	[保健福祉部]
新	○ 介護人材確保事業費（介護生産性向上推進総合事業費） 介護人材不足に対応し、介護サービスの質の向上につなげていくため、地域課題等について共有・意見交換する会議を開催するとともに、業務改善等の相談や支援等にワンストップで対応する「介護生産性向上総合相談センター（仮称）」を設置	14 百万円	[保健福祉部]
新	○ いわてメディア芸術資源活用推進事業費 メディア芸術の振興を図るため、本県の魅力を発信する動画コンテスト開催やメディア芸術の資源を活用した国際文化交流の推進、コンテンツツーリズムに向けた取組を実施	6 百万円	[文化スポーツ部]
拡	○ いわてアール・ブリュット未来創造事業費 作家の創作意欲や県民の理解・関心を高めるため、アール・ブリュット作品巡回展の開催に加え、福祉分野の人材等を対象に創作活動の現場見学体験を実施	4 百万円	[文化スポーツ部]
	○ インクルーシブスポーツ推進事業費	2 百万円	[文化スポーツ部]

Ⅱ

家族・子育て

～家族の形に応じたつながりや支え合いが育まれ、
また、安心して子育てをすることができる岩手～

R7：219億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策等を除く。

取組の方向性とポイント

- ・ 結婚支援や、各地域の特性に応じた**妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援**を強化
- ・ 「**県医療的ケア児支援センター**」を中心に、地域が主体となった**障がい児の支援体制**を構築
- ・ 青少年や保護者に係る**相談体制の充実や関係機関の連携**を促進
- ・ **学校・家庭・地域が一層の連携・協働**を図り、**子どもの学びや育ちを支える仕組みづくり**を推進

主 な 事 業

拡	○ 岩手であい・幸せ応援事業費	55 百万円	[保健福祉部]
	○ いわてで家族になろうよ未来応援事業費	108 百万円	[保健福祉部]
	○ 市町村少子化対策支援事業費	54 百万円	[保健福祉部]
	○ ライフデザイン形成支援事業費	7 百万円	[保健福祉部]
	○ いわて子育て応援保育料無償化事業費補助	614 百万円	[保健福祉部]
	○ いわて子育て応援在宅育児支援金	100 百万円	[保健福祉部]
	○ 周産期医療対策費	313 百万円	[保健福祉部]
拡	○ 妊産婦支援事業費	23 百万円	[保健福祉部]
	○ 地域子ども・子育て支援事業交付金	2,230 百万円	[保健福祉部]
	○ 医療的ケア児支援センター管理運営費	16 百万円	[保健福祉部]
新	○ 官民協働による困難を抱えた若年女性等支援事業費	10 百万円	[保健福祉部]
	予期せぬ妊娠等により様々な困難を抱えた若年女性等について、SNSなどの相談対応、専門的な支援を要する場合の一時的な居場所の提供等の支援を民間団体との協働により実施		
	○ 福祉・消費生活関連相談拠点施設（仮称）整備事業費	467 百万円	[環境生活部・保健福祉部]
新	○ 動物愛護管理センター整備事業費	31 百万円	[環境生活部]
	動物愛護行政を一層推進するため、いのちの大切さや共につながり支え合う心を育む拠点として、県と盛岡市が一体となって整備する動物愛護管理センターの基本設計等を実施		
	○ 学校・家庭・地域の連携協力推進事業費	132 百万円	[教育委員会]

取組の方向性とポイント

- ・ 授業等での **I C T** の効果的活用、教員の指導力向上、統合型校務支援システム導入等の取組を推進
- ・ 不登校の未然防止・適切な支援のため、教育支援センター等の相談体制の充実や多様な学びの場の確保の取組を推進
- ・ ものづくり産業を取り巻く環境変化や企業のニーズを踏まえ、高等教育機関等と連携し高度技能者・技術者の育成を推進

主 な 事 業

	○ 学校教育D X推進事業費（学校教育D X推進事業費）	51 百万円	[教育委員会]
新	○ 学校教育D X推進事業費（公立学校情報機器整備事業費） G I G Aスクール構想により整備された小中学校等の児童生徒 1 人 1 台端末の更新を実施	992 百万円	[教育委員会]
	○ 確かな学力育成加速化事業費	7 百万円	[教育委員会]
拡	○ いじめ不登校対策事業費（校内教育支援センター等体制整備事業費） 不登校児童生徒の学びの場や居場所を確保するため、県の教育支援センター「ふれあいルーム」分室に自立支援相談員を配置するとともに、新たに市町村における校内教育支援センターの支援員の配置に要する経費を補助（補助率：2/3、補助対象：市町村）	20 百万円	[教育委員会]
新	○ 災害時学校支援チーム構築事業費 大規模災害等が発生した際に学校教育の早期再開を支援するため、「災害時学校支援チームいわて（仮称）」を構築	2 百万円	[教育委員会]
新	○ いわて高校魅力化推進事業費（協働体制推進事業費） 民間団体と協働し、市町村の地域連携コーディネーターの配置促進や活動支援など、県立高校・関係機関等による「高校魅力化」の取組を推進	7 百万円	[教育委員会]
	○ 北いわてプラチナシティ推進事業費 北いわて振興のため、産学官連携コンソーシアムの枠組みを生かし、生成 A I など先端技術を活用する人材の育成、廃校等活用に係る市町村支援を実施	6 百万円	[ふるさと振興部]
拡	○ 地域スポーツ活動体制整備事業費 中学校の休日部活動の地域移行を進めるため、地域における運動部活動の受入体制の整備に向けた実証事業を実施するとともに、新たにアドバイザーを配置することにより、地域クラブ活動への移行を進める市町村への支援を実施	23 百万円	[文化スポーツ部]
拡	○ 未来のものづくり人材育成・地元定着促進事業費 地域ものづくりネットワーク等を中心とした各段階に応じた人材育成を推進するとともに、新たに女子中高生等を対象にものづくり企業で活躍する女性社員等との意見交換を実施するなど、ジェンダーバイアスの解消を図りながら、ものづくり産業への進路選択や就職につなげる取組を推進	26 百万円	[商工労働観光部]
拡	○ デジタル技術活用人材育成事業費 デジタル化を支える I T 企業やデジタル化に取り組む中小企業等を対象に、新たにデジタル技術の利活用に精通する人材を育成	2 百万円	[商工労働観光部]

取組の方向性とポイント

- ・ 省エネ住宅の普及、空き家の利活用と発生抑制、若者支援や移住・定住を促進するための空き家住宅の取得又は改修に係る支援
- ・ 国や市町村等と連携し、路線の維持や持続可能な地域公共交通ネットワークの構築、公共交通の利用促進の強化
- ・ U・Iターン促進のため、市町村や関係団体等と連携した移住体験、移住者受入れサポート体制等を強化
- ・ スポーツ大会・合宿の誘致などの取組により、人的・経済的な交流を推進

主 な 事 業		
	○ いわてZ E Hプラス住宅等普及促進事業費	40 百万円 [県土整備部]
	○ 若者・移住者空き家住まい支援事業費補助	4 百万円 [県土整備部]
拡	○ いわてお試し居住体験事業費 本県への移住・定住の促進を図るため、県外からの移住希望者や新たに農林水産業等の担い手を目指す者に対して家電等を整備した県営住宅を低廉な家賃で提供	35 百万円 [県土整備部]
拡	○ 地域公共交通再編・活性化推進事業費 「岩手県地域公共交通計画」に基づき、効率的で利便性の高い公共交通体系の構築を図るとともに、市町村が実施する地域公共交通ネットワークの再編等に対する支援の継続に加え、地域公共交通の利便を増進する計画の策定支援を強化（補助率：1/2、補助対象：市町村等）	16 百万円 [ふるさと振興部]
拡	○ 人口減少対応型関係人口推進事業費 岩手でスキルを生かしたい複業人材と企業等とのマッチング等を実施するなど「関係人口」の量的・質的な拡大を図るほか、新たに県北・沿岸地域で「人口減少対策フォーラム」を開催し、男女・世代・地域間のアンコンシャス・バイアスを解消する取組を実施	9 百万円 [ふるさと振興部]
新	○ 南米と岩手を結ぶ関係人口創出事業費 南米に県内の次世代人材の短期派遣を行い、本県への留学経験者との新たなネットワークの構築と交流の促進を図るほか、現地の若者世代への岩手県の魅力を伝えることを通じ、岩手との関係人口拡大の取組を実施	3 百万円 [ふるさと振興部]
拡	○ いわて就業促進事業費 県内企業と求職者やU・Iターン希望者とのマッチング支援、県内企業によるインターンシップの実施に対する支援等を行うほか、新たに外国人インターンシップの受入費用を補助する市町村を支援（補助率：定額、補助対象：県内中小企業・市町村）	101 百万円 [商工労働観光部]
	○ いわて暮らし応援事業費	211 百万円 [商工労働観光部]
新	○ 第81回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会開催準備費 「第81回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会」に向けて、競技運営に必要な備品整備、受入体制の整備、機運醸成に向けた取組等を実施	107 百万円 [文化スポーツ部]

10の政策分野のポイント

V

安全

～災害をはじめとした様々なリスクへの備えがあり、
事故や犯罪が少なく、安全で、安心を実感することができる岩手～

R7：57億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策分等を除く。

取組の方向性とポイント

- あらゆる主体と連携した総合的な防災・減災対策の推進
- 犯罪被害者等を支える社会づくり、交通事故抑止対策の推進
- 新興感染症の発生に備えた医療提供体制の確保、関係機関と連携した訓練等の実施、ワクチン接種体制の構築

主な事業

	○ 避難所運営デジタル化実証事業費	5 百万円	[復興防災部]
	○ 救助事務費	40 百万円	[復興防災部]
	災害時における被災者の自立・生活再建の早期実現を推進するため、県と市町村で共同運用する「岩手県被災者台帳システム」の更新を実施		
拡	○ 個別避難計画作成支援事業費	2 百万円	[復興防災部]
	市町村向け研修会等を実施するとともに、新たに津波避難や医療的ケア児等の専門的な支援を要するケースの計画作成や避難訓練を実施		
	○ 地震・津波対策緊急強化事業費	23 百万円	[復興防災部]
	本県最大クラスの津波被害想定を踏まえた沿岸市町村が行う避難対策や自主防災組織の育成・活性化など、犠牲者ゼロを目指す取組に要する経費のうち、国の交付金メニューにないソフト対策を対象に補助を実施（補助率：1/2・2/3、補助対象：市町村）		
	○ 通信施設管理費	1,066 百万円	[復興防災部]
	災害情報の効果的な収集及び伝達体制を確保するため、地域衛星通信ネットワークを運用するとともに、荒天時にも強い次世代システムへの更新を実施		
新	○ 犯罪被害者等支援推進事業費	3 百万円	[復興防災部]
	犯罪被害者等支援条例を踏まえ、コーディネーターを設置し支援体制を強化するとともに、人材育成及び県民への啓発を実施		
	○ 特殊詐欺被害予防対策費	13 百万円	[警察本部]
	○ 交通安全施設整備費	1,753 百万円	[警察本部]
	交通の安全と円滑を確保するため、交通危険箇所への信号機等交通安全施設の整備、老朽施設の更新、交通管制機能の高度化及び信号灯器のLED化等を推進		
	○ 交通安全広報啓発フォー・アプローチ事業費	1 百万円	[警察本部]
	○ ドローンの利活用による警察活動の高度化推進事業費	2 百万円	[警察本部]
	○ 感染症等健康危機管理体制強化事業費	3 百万円	[保健福祉部]
	○ 豚熱予防的ワクチン接種事業費	155 百万円	[農林水産部]

VI 仕事・収入

～農林水産業やものづくり産業などの活力ある産業のもとで、安定した雇用が確保され、
また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手～

R7 : 805億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策分等を除く。

取組の方向性とポイント

- 産業政策の総合的な展開による、**安定した雇用**の確保、**若者や女性等が働きやすい環境**の整備、**県民所得の向上**を実現
- 周遊できる二次交通**の確保や、クルーズ船の寄港拡大による**国内外からの誘客**の促進、**付加価値の高い旅行商品**の造成を推進
- 農林水産業分野における**多様な人材の確保・育成**、農林水産物の**高付加価値化**、**評価・信頼**の向上、**輸出拡大**

主な事業

- 拡** ○ **いわて働き方改革加速化推進事業費** **10 百万円** [商工労働観光部]
労働環境整備と処遇改善に向けた取組支援、若者・女性に魅力ある職場環境づくりに向け、新たに企業の従業員エンゲージメントを高める取組を支援
- 拡** ○ **魅力ある職場づくり推進事業費** **10 百万円** [商工労働観光部]
所定内労働時間の短縮や子育てしやすい環境整備に加え、リスキリング推進の取組に対する支援を強化（補助率：定額、補助対象：中小企業等）
- 拡** ○ **いわて就業促進事業費** **101 百万円** [商工労働観光部]
県内企業と求職者やU・Iターン希望者とのマッチング支援、県内企業によるインターンシップの実施に対する支援等を行うほか、新たに外国人インターンシップの受入費用を補助する市町村を支援（補助率：定額、補助対象：県内中小企業・市町村）
- **中小企業者等賃上げ環境整備支援事業費補助** **100 百万円** [商工労働観光部]
- 新** ○ **みちのく潮風トレイル受入態勢強化事業費** **10 百万円** [商工労働観光部]
地域の観光事業者や行政、DMO等の多様な関係者と連携し、地域一体となったみちのく潮風トレイルの受入態勢強化を実施
- 拡** ○ **インバウンドぐるっと県内周遊促進事業費** **15 百万円** [商工労働観光部]
新たに海外個人旅行向けのオンライン旅行代理店での販売支援や対応セミナーの開催、海外旅行会社等と連携したいわて花巻空港を起点とする県内周遊プロモーションを展開するほか、県北・沿岸地域を含む旅行商品の造成等を支援（補助率：定額、補助対象：海外旅行会社等）
- **インバウンド消費拡大推進事業費** **6 百万円** [商工労働観光部]
訪日外国人等に対する伝統工芸品をはじめとする県産品等のプロモーションを通じたインバウンド消費拡大を推進
- 拡** ○ **海外輸出力強化事業費** **41 百万円** [商工労働観光部]
海外における県産品の販路を拡大するため、プロモーションの展開先を拡充し、県内企業の海外ビジネス展開を支援
- 拡** ○ **高収益型企业創出支援事業費** **26 百万円** [商工労働観光部]
県内ものづくり企業における生産性・付加価値向上と技術力・開発力の更なる強化のため、新たにものづくり企業とIT企業との協業によるデジタル変革や県内ものづくり企業の経営力・経営基盤の強化を促進（補助率：定額、補助対象：（公財）いわて産業振興センター）
- 拡** ○ **起業・スタートアップ推進事業費** **12 百万円** [商工労働観光部]
「いわてスタートアップ推進プラットフォーム」による関係機関の連携を通じ、地域経済の新たな担い手となる起業家の成長を支援するとともに、新たに海外ベンチャーキャピタルとの連携により県内スタートアップ企業の海外展開を支援

10の政策分野のポイント

VI 仕事・収入（続き）

- 拡** ○ **幸せ創る女性農林漁業者育成事業費** **9 百万円** [農林水産部]
本県農林水産業をけん引する女性農林漁業者を育成するため、女性が働きやすい環境整備や女性グループの経営力・自主企画力向上に向けた取組、「食の匠」による地域食文化の伝承活動などを支援するほか、新たに若者との協働等による女性農林漁業者の活躍に関する情報発信等を実施
- 拡** ○ **農林水産就業支援事業費** **6 百万円** [農林水産部]
メタバースを活用した就業相談会の対象を農業に加え、林業や漁業に拡大するとともに、新たにリモート就農体験ツアーを開催するほか、県外飲食店等を対象にメタバースを活用した商談会を開催
- 新** ○ **多様な農業人材確保推進事業費** **6 百万円** [農林水産部]
地域農業の中核となる経営体の安定的な雇用を確保するため、短期雇用人材の確保に向けた労働力マッチングアプリの活用支援や、外国人材の受入れに向けた就労環境整備等に関する研修会を開催
- 新** ○ **農山漁村体験受入体制強化対策事業費** **3 百万円** [農林水産部]
教育旅行やインバウンド等の多様なニーズに対応するため、受入体制強化プランの策定支援やモデル地区の広域連携計画策定を実施
- **日本一の美味しいお米の国づくり推進事業費** **38 百万円** [農林水産部]
- 新** ○ **オリジナル水稻新品種プロモーション事業費** **3 百万円** [農林水産部]
県オリジナル水稻新品種「白銀のひかり」の円滑な普及を図るため、現地検討会や栽培マニュアルの普及、評価・認知度の向上のための情報発信等を実施
- 新** ○ **畜産物輸出コンソーシアム推進対策事業費補助** **98 百万円** [農林水産部]
畜産物（牛肉・鶏肉・乳製品）の輸出拡大を図るため、コンソーシアム（畜産物の生産から輸出まで一貫して輸出促進を図る体制）が実施する商談・プロモーション、輸出先国の基準に対応するための取組等を支援（補助率：定額、補助対象：協議会等）
- 拡** ○ **いわての県産木材利用促進事業費（需要創出・販路拡大事業費）** **5 百万円** [農林水産部]
県産木材の販路拡大を図るため、全国規模の木材製品展示商談会への出展支援や県産木材の利用促進を働きかけるPRイベント等を実施するほか、新たに広葉樹等の更なる販路拡大に向け、広葉樹材の木材ショールームへの出展や加工工場への技術指導等を実施
- 新** ○ **マーケットイン型サーモン養殖推進事業費** **3 百万円** [農林水産部]
海面養殖サーモンの更なる生産拡大を図るため、高品質かつ高水温等気候変動に対応した新種苗の開発や、サケふ化場等の活用による種苗の効率的な生産体制の構築に向けた技術検証を実施
- 拡** ○ **養殖業振興事業費** **4 百万円** [農林水産部]
養殖生産量の増大を図るため、アサリ種苗の量産技術の実証試験等を実施するほか、新たに高水温に適応したワカメやヨーロッパヒラガキの種苗生産技術の開発等を実施
- 拡** ○ **クルーズ船誘致プロモーション事業費** **8 百万円** [県土整備部]
観光資源など「岩手の魅力」を知っていただくモニターツアーを新たに実施するなどし、国内外の船社等を対象としたプロモーションを強化

取組の方向性とポイント

- ・「平泉の文化遺産」の拡張登録に向けた取組や平泉の世界遺産及び関連資産を活用した文化観光の推進
- ・橋野鉄鉱山の世界遺産登録10周年を契機とした世界遺産の価値普及の推進
- ・御所野遺跡などの歴史資源や民俗芸能などの伝統文化の活用による地域活性化

主 な 事 業		
○	世界遺産登録推進事業費 「平泉の文化遺産」の拡張登録に向けた取組を実施	43 百万円 [文化スポーツ部]
○	世界遺産保存活用事業費 県内の3つの世界遺産「平泉」、「橋野鉄鉱山」及び「御所野遺跡」の保存活用の取組を実施	10 百万円 [文化スポーツ部]
○	世界遺産価値普及事業費 県内の3つの世界遺産「平泉」、「橋野鉄鉱山」及び「御所野遺跡」に係る価値や魅力の理解増進を図るとともに、橋野鉄鉱山の世界遺産登録10周年を契機とした国内外への魅力発信等の取組を実施	5 百万円 [文化スポーツ部]
○	平泉の文化遺産文化観光推進事業費 平泉の世界遺産及び関連資産を活用した関係人口の創出や地域の活性化を図るため、文化観光に関する取組を実施	21 百万円 [文化スポーツ部]
新	○ 北海道・東北ブロック民俗芸能大会開催費 民俗芸能の保存・継承活動を促進するため、「第67回北海道・東北ブロック民俗芸能大会」を開催	6 百万円 [文化スポーツ部]
○	平泉文化研究機関整備推進事業費 平泉文化の総合的な研究を推進し、その成果を普及するため、大学等と連携した調査研究を実施するとともに、平泉学フォーラムを開催	3 百万円 [教育委員会]
○	柳之御所遺跡整備調査事業費 県立平泉世界遺産ガイダンスセンターを拠点とし、柳之御所遺跡の保存と活用のため、発掘調査を実施するとともに、史跡公園としての整備を実施	53 百万円 [教育委員会]
○	文化財保護事業費 国・県指定文化財の所有者等が行う修理、保存整備、記録保存等に要する経費を補助（補助率：1/4・1/2、補助対象：国・県指定文化財の所有者等）	96 百万円 [教育委員会]
拡	○ 海外輸出力強化事業費 「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産登録を契機とし、本県の酒造り文化により育まれてきた県産日本酒をはじめとする県産品の海外に向けた魅力発信と販路拡大を推進	41 百万円 [商工労働観光部]

VIII 自然環境

～一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、
自然の豊かさとともに暮らすことができる岩手～

R7：68億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策分等を除く。

取組の方向性とポイント

- ・ ツキノワグマに係る捕獲の強化や環境整備、市街地出没時の対応訓練など総合的な鳥獣被害防止対策の推進
- ・ 温暖化防止いわて県民会議を中核とした県民、事業者総参加の県民運動などによる脱炭素化の推進
- ・ 地域経済と環境の好循環に向けた、市町村や発電事業者等との連携による再生可能エネルギーの導入

主 な 事 業		
新	○ 指定管理鳥獣対策事業費（ツキノワグマ総合対策） ツキノワグマによる人身被害を防止するため、捕獲による個体数管理や全県での生息数調査を実施	56 百万円 [環境生活部]
	○ 指定管理鳥獣対策事業費（新規狩猟者の確保・定着促進事業費）	1 百万円 [環境生活部]
拡	○ ツキノワグマ被害防止対策事業費 ツキノワグマによる人身被害を防止するため、市街地出没訓練や啓発のほか、新たに知見を有する専門家人材との連携強化による取組を推進	7 百万円 [環境生活部]
新	○ ニホンザル対策調査事業費 ニホンザルによる農作物被害等を防止するため、生息状況調査等を実施するほか、専門家会議を開催	8 百万円 [環境生活部]
拡	○ 三陸ジオパーク推進強化事業費 三陸ジオパークの地域資源を保全し、価値や魅力等を広く普及していくため、みちのく潮風トレイル等と連携した国内外への情報発信のほか、世界ジオパーク認定を見据えた地質遺産等の国際的意義の再整理などを実施	11 百万円 [環境生活部]
	○ 循環型地域社会形成推進事業費	142 百万円 [環境生活部]
	○ 脱炭素化推進事業費 脱炭素化に向けた県民・事業者・市町村等の各主体における取組の促進や、事業者への省エネ設備導入補助（補助率：定額、補助対象：県内の事業者）等を行うほか、県有施設への太陽光発電設備やLED照明の導入などを推進	290 百万円 [環境生活部]
	○ 再生可能エネルギー導入促進事業費	138 百万円 [環境生活部]
	○ 水素利活用推進事業費	7 百万円 [環境生活部]
	○ 海洋エネルギー関連産業創出推進事業費	4 百万円 [ふるさと振興部]
	○ いわての森林づくり推進事業費（いわて環境の森整備事業費）	600 百万円 [農林水産部]

IX 社会基盤

～防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手～

R7 : 610億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策分等を除く。

取組の方向性とポイント

- ・ **I L Cの実現**に向けた取組や、**受入環境**の整備、**新たな産業振興**を推進
- ・ **生成型 A I**を活用した業務の変革を促進する**環境構築**
- ・ **安全・安心を支える社会資本**や、**産業や観光振興の基盤**となる**社会資本**の整備を推進
- ・ **社会資本**を適切に維持管理し、**長寿命化対策**を推進

主 な 事 業		
拡	○ I L C推進事業費	108 百万円 [I L C 推進局]
新	○ 生成型 A I 利活用基盤構築事業費	2 百万円 [ふるさと振興部]
	持続可能な行政サービスを提供するため、生成型 A I を活用した業務の変革を促進する環境構築を実施	
	○ 携帯電話等エリア整備事業費補助	9 百万円 [ふるさと振興部]
	○ いわて戦略的 D X ・ G X 等研究開発推進事業費	39 百万円 [ふるさと振興部]
	○ 海洋研究拠点形成促進事業費	1 百万円 [ふるさと振興部]
	○ 経営体育成基盤整備事業費	3,382 百万円 [農林水産部]
拡	○ いきいき農村基盤整備事業費補助	100 百万円 [農林水産部]
	○ 河川改修事業費	4,158 百万円 [県土整備部]
	○ 砂防事業費	905 百万円 [県土整備部]
	○ 河川等災害復旧事業費	7,887 百万円 [県土整備部]
	○ 交通安全施設整備事業費	927 百万円 [県土整備部]
	○ 地域連携道路整備事業費	6,195 百万円 [県土整備部]
	○ 空港整備事業費	732 百万円 [県土整備部]
	○ 道路・河川等維持管理事業費	13,102 百万円 [県土整備部]
	○ 道路環境改善事業費	13,134 百万円 [県土整備部]

10の政策分野のポイント

X

参画

～男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などの活躍、幅広い市民活動や県民運動など
幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手～

R7：19億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策等を除く。

取組の方向性とポイント

- ・ **官民一体**での取組による家庭や学校、企業など地域社会における**ジェンダーギャップの解消、女性活躍の推進**
- ・ **市町村や地域づくり団体等との協働**による**若者が活躍できる環境づくり、地域社会全体の意識醸成**
- ・ ボランティア・N P O・市民活動に係る**多様な主体の連携・協働事例の発信、県民の理解促進、参加・参画の機運醸成**

主 な 事 業

- いわて男女共同参画プラン推進事業費 26 百万円 [環境生活部]
男女共同参画社会実現に向け、男女共同参画センターを拠点として各種講座の開催や情報提供、相談事業、L G B T 等への理解促進の取組を実施
- 新 ○ 固定的性別役割分担意識解消促進事業費 3 百万円 [環境生活部]
企業や地域等における固定的性別役割分担意識の解消に向け、外部専門人材による講演会や出張セミナーなどを開催
- いわて家事・育児シェア普及推進事業費 3 百万円 [環境生活部]
家庭における固定的性別役割分担意識を解消し、男女が協力して家事・育児を行う意識醸成を図るため、公民連携による啓発キャンペーン等を実施
- 拡 ○ いわて若者活躍支援強化事業費 24 百万円 [環境生活部]
若者の主体的な活動を支援するため、ネクストジェネレーションフォーラムの開催や、若者カフェの連携拠点の更なる拡充のほか、カフェマスターと連携し若者のアイデア実現を支援（補助率：定額、補助対象：若者グループ）
- 拡 ○ いわて女性活躍支援強化事業費 5 百万円 [環境生活部]
女性が働きやすい職場環境づくりを促進するため、いわて女性活躍企業等認定制度の普及や経営者向けセミナー開催のほか、新たに職場での女性活躍推進を牽引するキーパーソン養成セミナーを実施
- いわて女性デジタル人材育成プロジェクト事業費 16 百万円 [環境生活部]
女性の多様で柔軟な働き方の推進及び所得向上を図るため、デジタル分野で即戦力として活躍できるスキル取得と就労を支援
- 女性のためのつながりサポート事業費 15 百万円 [環境生活部]
孤独・孤立や生活困窮など様々な困難を抱える女性を支援するため、当事者に寄り添ったきめ細かな相談体制の整備や居場所づくり等を実施
- N P O 活動交流センター管理運営費 36 百万円 [環境生活部]
- いわてで生み育てる県民運動推進費 5 百万円 [保健福祉部]
- いわてで働こう推進協議会管理運営費 0.4 百万円 [商工労働観光部]
若者や女性等の県内就業やU・I ターンの促進を図るため、「いわてで働こう推進協議会」を核として、オール岩手で人材の確保や定着、ジェンダーギャップ解消の取組を推進

【再掲】「ジェンダーギャップの解消」関連事業

県民誰もが活躍できる環境づくりに向け、ダイバーシティ（多様性）やインクルージョン（包摂性）に富む社会を実現するため、「ジェンダーギャップの解消」に関する施策を強化し、分野横断で展開

主 な 事 業		
	○ いわて家事・育児シェア普及推進事業費	3 百万円 [環境生活部]
	○ いわて男女共同参画プラン推進事業費	26 百万円 [環境生活部]
	○ ライフデザイン形成支援事業費	7 百万円 [保健福祉部]
拡	○ 未来のものづくり人材育成・地元定着促進事業費 新たに女子中高生等を対象に、ものづくり企業で活躍する女性社員等との意見交換を実施するなど、ジェンダーバイアスの解消を図りながら、ものづくり産業への進路選択や就職につなげる取組を推進	26 百万円 [商工労働観光部]
新	○ 固定的性別役割分担意識解消促進事業費 企業や地域等における固定的性別役割分担意識の解消に向け、外部専門人材による講演会や出張セミナーなどを開催	3 百万円 [環境生活部]
拡	○ 人口減少対応型関係人口推進事業費 新たに県北・沿岸地域で「人口減少対策フォーラム」を開催し、男女・世代・地域間のアンコンシャス・バイアスを解消する取組を実施	9 百万円 [ふるさと振興部]
拡	○ いわて女性活躍支援強化事業費 女性が働きやすい職場環境づくりを促進するため、いわて女性活躍企業等認定制度の普及や経営者向けセミナー開催のほか、新たに職場での女性活躍推進を牽引するキーパーソン養成セミナーを実施	5 百万円 [環境生活部]
拡	○ 魅力ある職場づくり推進事業費 ジェンダーギャップ解消の取組を促進し、若者や女性などに魅力ある雇用・労働環境の整備の促進を図るため、所定内労働時間の短縮や子育てしやすい環境整備等を実施（補助率：定額（新たに、3 区分以上の取組を実施する事業所は補助上限額を引き上げ）、補助対象：中小企業等）	10 百万円 [商工労働観光部]
拡	○ いわて働き方改革加速化推進事業費 働き方改革の促進や生産性向上、ジェンダーギャップの解消等を推進するため、労働環境の整備と処遇改善に向けた取組を支援するとともに、若者や女性などに魅力ある職場環境づくりに向けて、新たに企業における従業員エンゲージメントを高める取組を支援	10 百万円 [商工労働観光部]
拡	○ 幸せ創る女性農林漁業者育成事業費 女性が働きやすい環境整備や女性グループの経営力・自主企画力向上に向けた取組などを支援するほか、新たにアンコンシャス・バイアスの解消に向けた若者との協働等による女性漁業者の情報発信等を実施	9 百万円 [農林水産部]
	○ 沿岸地域基幹産業人材確保支援事業費 水産加工事業者が実施する女性が働きやすい職場環境の整備等に要する経費の一部を補助する市町村を支援（補助率：定額、補助対象：市町村）	28 百万円 [復興防災部]
	○ いわて女性デジタル人材育成プロジェクト事業費	16 百万円 [環境生活部]
	○ 女性のためのつながりサポート事業費	15 百万円 [環境生活部]
	○ いわてで働こう推進協議会管理運営費	0.4 百万円 [商工労働観光部]

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「I L Cプロジェクト」の展開

目指す姿 国際リニアコライダー（I L C）の実現により、世界トップレベルの頭脳や最先端の技術、高度な人材の集積が見込まれることから、I L Cを核とした国際研究拠点の形成を見据えた受入環境整備の取組、新たな産業振興に向けた取組を推進します。

今後の展望・現状・課題

① I L C実現に向けた取組

【今後の展望】

県内外の関係団体と一体となって**国民的な機運の醸成喚起**を図り、日本政府による**タイムリーな誘致判断**を目指す。

【現状】

- (1) R6年度に小島よしお氏を起用したP R動画を作成し、I L C日本誘致に向けた機運醸成を促すキャンペーンを同年度10月から実施
- (2) 関係省庁等に対し政府予算要望を実施（6月）

【課題】

次期大型加速器をめぐる海外の情勢が大きく変化している中、日本の誘致判断に残された時間は少なくなってきており、**タイムリーな日本政府の前向きな判断を後押しするための国民的な機運醸成の必要性**が高まっている。

② I L Cプロジェクトの推進

【今後の展望】

I L Cの実現効果を高めるよう、I L C誘致を見据えた**加速器関連産業の振興や人材育成**などの取組を推進する。

【現状】

- (1) 加速器コーディネーターによる県内企業のI L C関連試作品の受注支援、エンジニアや設計者向けの技術支援「チャレンジ部」の実施
- (2) グリーンI L Cの普及啓発に向けたセミナーの開催
- (3) 高校生等を対象とした科学講演会・コンテスト・国内先端施設派遣研修の実施、小中学生を対象とした出前授業の実施

【課題】

- (1) 加速器関連産業への参入支援及び受注支援の強化、I L Cに関わる幅広い分野で活躍できる人材の育成
- (2) グリーンI L Cの理念・取組の普及啓発
- (3) 科学に興味を持つ児童生徒の拡大

令和7年度の主な取組

① I L C実現に向けた取組

【継続】

- (1) 国民的な機運醸成を図るため、**大阪・関西万博などの機会をとらえ、電車内広告など効果的な情報発信を実施**【I L C推進事業費 13百万円【プロ費】】
- (2) I L Cが持つ多様な価値を県内外の推進団体と共有し、全国知事会等とも連携しながら**国等への働きかけを強化**【I L C推進事業費【プロ費】】



▶ R6：真空展（東京）



▶ R6：いわてビッグブルズ
県冠試合でのPR（県内）



▶ R6：ILC解説セミナー（県内）

② I L Cプロジェクトの推進

【拡充】

- (1) 県内企業の加速器関連分野の受注増大に向け、**加速器コーディネーター等による関東、関西方面の活動を強化**するとともに、引き続き、岩手I L C連携室・オープンラボに整備した性能評価機器を活用しながら**技術支援を実施**【I L C推進事業費 22百万円【プロ費】】

【継続】

- (1) グリーンI L Cに関する**セミナーの開催による普及啓発**、カーボンニュートラルに資する取組を実施している企業等の調査を実施【I L C推進事業費 1百万円【プロ費】】
- (2) 高校生等を対象とした**科学講演会・チャレンジコンテスト等の実施**、小中学生を対象とした**出前授業の実施**【I L C推進事業費 3百万円【プロ費】】



▶ R6：科学講演会



▶ R6：出前授業



▶ R6：技術セミナー

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「北上川バレープロジェクト」の展開

目指す姿 働きやすく、暮らしやすい、21世紀にふさわしい新しい時代を切り拓く地域

- (①北上川流域の強みを生かした産業振興・生活環境の更なる充実 ②第4次産業革命技術の導入促進と新たな技術を拓く人材の確保・育成 ③多様な主体との連携・協働によるプロジェクト推進体制の構築)

今後の展望・現状・課題

①北上川流域の強みを生かした産業振興・生活環境の更なる充実

【今後の展望】

県内就業に向けた**産業人材の育成・確保・定着**と**県内企業の働き方改革の推進**

【現状】

- (1) 北上川バレーエリアにおける**半導体関連産業等の誘致が加速**

- ⇒ R元～R5で**99社が新規立地**（うち半導体関連45社）
⇒ キオクシア岩手(株)第2製造棟が完成。
SMC遠野サプライヤーパーク、東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株)新棟等が整備中。



▶キオクシア岩手第2製造棟

- (2) ヘルステック・イノベーション・ハブを拠点に**医療機器関連産業が進展**

- ⇒ **ヘルステック・イノベーション・ハブ**入居企業間の連携による**新製品開発・新事業創出**が活性化。



▶ヘルステック・イノベーション・ハブ

- (3) **産学官連携による専門人材や産業人材の育成が進展**

- ⇒ 高等教育機関との連携による**半導体関連産業**の人材育成の展開。

- (4) **U・Iターン者の受入体制等の充実**

- ⇒ U・Iターン者の受入体制の構築・情報発信及び移住者交流会を通じた移住者の定着を市町村との連携により支援。

【課題】

- (1) 誘致企業及び県内中小企業が求める**人材の育成・確保・定着支援**の強化。
(2) U・Iターン者を中心に県内定着につながる**生活環境等の整備**の推進。

令和7年度の主な取組

①北上川流域の強みを生かした産業振興・生活環境の更なる充実

【新規】

- (1) **半導体関連人材育成施設を活用した人材育成・確保**
【半導体関連人材育成推進事業費16百万円[プロ費]】



▶半導体関連人材育成施設（イメージ図）

【拡充】

- (1) **ものづくり企業で活躍する女性社員等と連携したものづくり産業への進路選択支援**
【未来のものづくり人材育成・地元定着促進事業費26百万円】

- (2) **移住希望者への県営住宅の提供、農林水産業等の担い手の確保を支援**【いわてお試し居住体験事業費35百万円】



▶サイエンス教室・企業見学

- (3) **県内企業の働き方改革を推進**
【いわて働き方改革加速化推進事業費10百万円】

- (4) **若者や女性などに魅力ある職場づくりに向け企業を支援**
【魅力ある職場づくり推進事業費10百万円】

- (5) **スタートアップ創出の場づくり、事業化支援の強化**
【起業・スタートアップ推進事業費12百万円】



▶いわて働き方改革AWARD

- (6) **大学生等の県内就職の促進**
【いわて就業促進事業費101百万円】

【継続】

- (1) 県外人材とのマッチング支援、移住費用の支援
【いわて暮らし応援事業費211百万円】

- (2) 高校生へのキャリア教育や移住者等の交流会等による定着促進
【県南地域移住定住・定着促進事業費3百万円】



▶職場体験を踏まえた意見交換会

- (3) 若者と移住者を対象に、空き家取得等の費用を支援
【若者・移住者空き家住まい支援事業補助4百万円】

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「北上川バレープロジェクト」の展開

目指す姿 働きやすく、暮らしやすい、21世紀にふさわしい新しい時代を切り拓く地域

②第4次産業革命技術の導入の促進と新たな技術を開く人材の確保・育成

【今後の展望】

産業分野・生活分野におけるDXの促進とデジタルを含む高度技術人材育成

【現状】

(1) 県内企業や工場におけるスマート化

⇒ 県内でIoT・AIを活用した生産性向上に取り組む企業や工場のスマート化を目指す企業が顕在化。

(2) 地域DXの進展

⇒ 北上市や奥州市などで通院困難者向けに、「遠隔診療車」を活用し、「モバイルクリニック」の取組を開始したほか、八幡平市において、**ドローンを活用した遠隔診療実証実験**を実施。
⇒ 北上市において、デジタル基盤を活用した児童発達支援に関する情報共有・調整スキームする「**こども療育ネットワーク**」を構築。



▶ ドローン活用した遠隔診療

(3) 企業の労力削減・生産性向上

⇒ IT企業による自社のITスキルを活用した県内での**スマート農業の実践**や**営農・生産管理システムの高度利用**。



▶ 民間企業によるIT人材育成

(4) 県内企業のIT人材育成の進展

⇒ **小学生から大人までを対象**にしたIT人材の育成が県内企業を中心にスタート。

【課題】

- (1) 企業や地域におけるDXの動きを**エリア全体に波及**させるための取組の推進。
- (2) 地域内でのAI等の**高度IT人材育成・確保**の取組の強化。

③多様な主体との連携・協働によるプロジェクト推進体制の構築

【今後の展望】

- ・展開研究会を核とした構成市町やアドバイザーボード等との連携協力による取組推進
- ・構成市町等と連携し、**対外的なバレーエリアの魅力発信**を強化

【現状】

働きやすく暮らしやすいエリアの実現に向けた市町村の取組を促進

⇒ 北上川バレーエリアの市町との連携による地域課題の共有や情報交換、先進事例研究等を通じ、地域におけるスマート農業や遠隔医療などの取組が進展。

【課題】「残ってもらう」「帰ってきてもらう」「来てもらう」きっかけとなる**地域の魅力のPR**の充実。

②第4次産業革命技術の導入の促進と新たな技術を開く人材の確保・育成

【新規】

(1) ものづくり企業への県内就職及びU・Iターン促進

【ものづくり高度人材の県内就職・確保促進事業費8百万円】

【拡充】

(1) ものづくり企業とIT企業との協業促進によるデジタル変革

【高収益型企業創出支援事業26百万円】

(2) ものづくり基盤技術の高度化に向けた人材育成や共同研究

【ものづくり企業価値向上支援事業費20百万円】

(3) 3次元デジタル人材育成や企業の技術の高度化の支援

【ものづくり産業デジタル化推進事業費45百万円】

(4) モビリティ産業の人材育成の支援

【モビリティ産業高度化推進人材育成事業費8百万円】

(5) 産学官連携による企業のAI活用人材育成の支援

【ものづくりAI活用人材育成事業費11百万円[プロ費]】

(6) DXの普及拡大、DX人材の育成・確保等

【北上川流域産業DX推進事業費6百万円】

【継続】

(1) IT関連企業の技術力向上や販路拡大等の促進

【みらいもりおかDX推進事業費3百万円】

(2) データ駆動型農業技術の開発・実証や普及推進体制の強化

【データ駆動型農業推進事業費11百万円[プロ費]】



▶ IT×ものづくりインタラクティブミーティング



▶ IT関連企業とものづくり企業とのマッチング交流会



▶ データ駆動現地技術交流会

③多様な主体との連携・協働によるプロジェクト推進体制の構築

【継続】

(1) 北上川バレーの魅力イベント等を通じて県内外へ発信

構成市町やアドバイザーボード等との連携による取組推進

【北上川バレープロジェクト推進事業費3百万円

【プロ費】

▶ 北上川バレーを事例としたイベントで発信
(いわてネクストジェネレーションフォーラム2024)



新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「三陸防災復興ゾーンプロジェクト」の展開

目指す姿 岩手県と国内外をつなぐ海側の結節点として持続的に発展する三陸防災復興ゾーンの創造

今後の展望・現状・課題

① 「防災」で世界とつながる三陸

【今後の展望】

- ・伝承館を拠点とした震災の事実・教訓の伝承の推進と県内震災伝承施設等との連携による三陸地域の周遊促進
- ・三陸鉄道等の地域資源を活用した防災ツーリズム等による防災学習の推進

【現状】

- (1) 東日本大震災津波伝承館の来館者数が115万人を突破。震災を経験していない世代の増加等により風化や関心の低下が懸念される

【課題】

- (1) 震災の事実・教訓の次世代への**確実な伝承、風化防止、防災力向上に貢献する取組**が必要

② 多様な交通ネットワークで国内外とつながる三陸

【今後の展望】

- ・復興道路等を活用した物流態勢の構築支援
- ・県内港湾への利用転換の促進とクルーズ船の更なる寄港誘致、航空会社等と連携した三陸地域への誘客の促進
- ・市町村等と連携した三陸鉄道の企画列車の実施による誘客促進

【現状】

- (1) 復興道路の全線開通など**新たな交通ネットワークが整備**されている
- (2) **国際定期便再開、クルーズ船寄港再開**

【課題】

- (1) 復興道路や港湾など**多様な交通ネットワークを生かした三陸地域への周遊、誘客促進、企業誘致の強化**が必要
- (2) 新たに整備された道の駅等の**観光拠点を活用した誘客の取組**が必要
- (3) ニューヨークタイムズ掲載等による**インバウンド増加の機会を捉え、沿岸地域への周遊促進の取組**が必要

令和7年度の主な取組

① 「防災」で世界とつながる三陸

【継続】

- (1) 「復興フォーラム」の開催、**東日本大震災津波伝承館を拠点とした事実・教訓の伝承・発信、復興情報の発信**

【復興情報発信事業費 20百万円】

- (2) 三陸の**地域資源と防災学習を活用して大学の現地ゼミ等を誘致**

【新しい三陸振興推進費 2百万円】

- (3) **教育旅行の誘致拡大と三陸地域への周遊促進**のため、旅行業者に経費を一部補助

【いわて教育旅行誘致促進事業費補助 10百万円】



▶いわて復興未来塾



▶大学生の防災学習

② 多様な交通ネットワークで国内外とつながる三陸

【新規】

- (1) **いわて花巻空港を拠点とした沿岸地域への周遊を促進**するため、空港からの**二次交通の拡充に向けた実証事業**を実施

【いわて花巻空港利用促進事業費（二次交通拡充実証事業）63百万円【プロ費】】

- (2) 沿岸の**気象条件や道路の利便性等を活用し、大規模な園芸施設を整備する企業の誘致に向け、市町村と連携した体制整備と誘致活動**を実施

【大規模施設園芸企業誘致促進事業費 3百万円【プロ費】】

【拡充】

- (1) **海外旅行会社等と連携したいわて花巻空港及び近隣県の空港等を起点とする県内周遊プロモーションを展開。県北・沿岸地域を含む旅行商品の造成等**を支援

【インバウンドぐるっと県内周遊促進事業費 15百万円【プロ費】】

- (2) **クルーズ船の一層の寄港拡大に向け、港湾ごとにターゲットを絞ったポートセールス**を実施

【クルーズ船誘致プロモーション事業費 8百万円】

【継続】

- (1) **三陸鉄道の関係市町村と連携した利用促進、沿線地域の魅力発信と誘客拡大**

【三陸鉄道運営支援事業費（岩手県三陸鉄道強化促進協議会負担金） 16百万円】

- (2) 岩手ファンの拡大、**三陸を重点とした周遊・滞在型観光促進及びイシツブテ公園等のコンテンツを活用した民間企業（株ポケモン）と連携したプロモーションの実施。**

【いわての魅力まるごと発信強化事業費 13百万円【プロ費】】



▶大規模園芸施設におけるトマト栽培



▶クルーズ船寄港



▶三陸鉄道企画列車



©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

▶道の駅いわて北三陸 イシツブテ公園

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「三陸防災復興ゾーンプロジェクト」の展開

目指す姿 岩手県と国内外をつなぐ海側の結節点として持続的に発展する三陸防災復興ゾーンの創造

今後の展望・現状・課題

③ ジオパークで世界とつながる三陸

【今後の展望】

- ・地質遺産等や環境保全に関する知識を有する**人材の育成**
- ・イベントの開催や受入態勢の整備等による**国内外との交流人口を拡大**

【現状】

- (1) 住民主体の活動などエリアとしての**一体的な活動が拡大**

【課題】

- (1) **世界ジオパーク認定**を見据え、ジオパークの魅力を伝える**人材の育成やネットワーク活動の充実等が必要**

④ 世界に誇れる食やスポーツでつながる三陸

【今後の展望】

- ・「食」を核とした**地域振興**の推進
- ・三陸地域の特色を生かした**スポーツによる地域づくり**の推進
- ・市町村等と連携した**三陸鉄道の企画列車の実施による誘客促進**

【現状】

- (1) 三陸の豊かな**食材や魅力を軸に据えた産業振興**や、釜石鵜住居復興スタジアム等を活用した**スポーツを通じた人的・経済的交流拡大**に向けた取組を推進

【課題】

- (1) 三陸の「食」を核とした産業振興を図り、**人的・経済的交流の拡大**につなげる必要
- (2) 海水温の上昇等の**環境変化による主要魚種の不漁への対応**が必要
- (3) スポーツ施設等を活用した**大会・合宿誘致など国内外へのPR**を実施

⑤ 次代を担う人材の育成 ⑥ 多様な主体の参画と協働によるプロジェクトの推進

【今後の展望】

- ・三陸DMOセンターを中核とした**観光事業者・団体の連携推進と観光人材の育成**
- ・多様な主体の連携による交流人口の拡大と三陸地域の総合的な振興を図る**新たな体制整備を推進**

【現状】

- (1) 三陸振興協議会を設置し、**関係団体の事業の共有と連携を推進**

【課題】

- (1) 水産加工業等、**地域産業の担い手の確保、育成**が必要
- (2) 漁業を中心とした地域の活性化に向けた**海業の振興を図る取り組み**が必要
- (3) さんりく基金等と連携し**三陸地域の振興を図る新体制構築に向けた取組**が必要
- (4) 地域振興をけん引する**継続的な人材の育成**が必要
- (5) **多様な主体が参画し、持続的な三陸振興**につなげていくことが必要

令和7年度の主な取組

③ ジオパークで世界とつながる三陸

【新規】

- (1) ジオパークやみちのく潮風トレイル等の**地域資源を活用した誘客拡大に向けた取組**
【いわて三陸交流人口・関係人口拡大推進事業費 100万円】

【継続】

- (1) **世界ジオパーク認定**を見据え、**国内外への情報発信機能強化及び国際ネットワーク活動を推進**。ジオパークを活用した**教育活動や認定ガイドの育成**
【三陸ジオパーク推進強化事業費 110万円【プロ費】】



▶三陸ジオパークシンポジウム

④ 世界に誇れる食やスポーツでつながる三陸

【新規】

- (1) **海洋環境の変化に対応し、養殖生産量の回復を図るため、ホタテやマガキの養殖方法改良や、サーモン養殖生産量の増大に向けた技術の開発、販路拡大の取組**を実施
【いわて三陸海洋環境変化対応型養殖推進事業費 600万円】

【継続】

- (1) ALPS処理水の海洋放出に伴い影響を受けた水産物の需要を喚起するため、**新たな販路・物流モデルの構築等を支援**
【新たな水産資源利活用モデル開発事業費 400万円】
- (2) **いわてスポーツコミッションによる大会・合宿の誘致**に向けた取組の実施
【地域活性化スポーツ推進事業費 160万円】



▶カキ養殖



▶いわてスポーツキャンブガイドブック

⑤ 次代を担う人材の育成 ⑥ 多様な主体の参画と協働によるプロジェクトの推進

【新規】

- (1) (公財) **さんりく基金との連携により三陸の観光産業等の振興を図る新体制構築に向けた検討等の取組**を行う
【三陸総合振興体制構築支援事業費 140万円【プロ費】】
- (2) 地域の観光事業者や行政、DMO等と連携し、地域一体となった**みちのく潮風トレイルの受入態勢強化**を実施
【みちのく潮風トレイル受入態勢強化事業費 100万円【プロ費】】

【拡充】

- (1) **水産加工業者等の経営力の強化**を図るため、大手コンサルティング会社と連携した**経営支援を拡充するとともに、支援機関との連携強化に向けた取組**を実施
【いわて三陸水産加工業等経営力強化事業費 200万円】

【継続】

- (1) 企画コンサルタントや実証試験による**地域資源を活用した海業ビジネスモデルづくりの支援及び県内外先行事例の共有**や新たな分野との連携を含む**シンポジウムの開催**
【海業推進モデル事業費 100万円】
- (2) **科学技術の活用・イノベーションの創出を担う人材の育成・確保**を図ることを目的に「出張 いわてまるごと科学館」を開催
【科学技術普及啓発推進事業費 200万円】



▶水産加工業者支援



▶海業モニターツアーでのウニの殻剥き体験



▶出張いわてまるごと科学館

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト」の展開

目指す姿 あらゆる世代がいきいきと暮らし持続的に発展するゾーンの創造（①地域産業の展開 ②北海道・北東北広域交流圏の形成 ③再生可能エネルギー資源の活用 ④中山間地における快適な社会の形成 ⑤未来を担う人材の育成 ⑥多様な主体の参画と協働）

今後の展望・現状・課題

① あらゆる世代が活躍する地域産業の展開

【今後の展望】

先端技術の導入などによる生産性の向上や、起業・事業承継による地元定着やU・Iターンの促進

【現状】

- (1) 夏季冷涼な気候等、地域特性に対応したデータ駆動型農業の実証や、アパレル・漆等の地場産業における新技術の導入に向けた取組が進展

【課題】

- (1) 地場産業の生産性や付加価値の向上、若者の定着に向けた取組の加速化が必要

② 北海道・北東北広域交流圏の形成による交流人口の拡大

【今後の展望】

世界遺産や漆、琥珀などの地域資源を生かした交流人口の拡大

【現状】

- (1) 御所野遺跡の世界遺産登録3周年に合わせ、一戸町や関係団体等との連携による記念事業の実施や、漆などの地域資源を生かした新たな体験型観光ルートを構築

【課題】

- (1) 地域資源を生かし、国内個人旅行やインバウンド誘客につなげていくことが必要

③ 豊富な再生可能エネルギー資源を生かした地域の振興

【今後の展望】

再エネ資源や未利用資源を活用し、地域の脱炭素化やエネルギー循環を促進

【現状】

- (1) 沿岸北部等における洋上風力発電事業の実現に向け、海域の調査・研究並びに海洋再生可能エネルギー関連産業の創出に向けたビジョン作成等を実施
(2) 基幹産業である農林水産業と再生可能エネルギー資源を組み合わせ、新技術やJクレジットなどの投資手法を活用した地域産業のイノベーションに向けた取組が各地で進展

【課題】

- (1) 研究や社会実証の成果を早期に発現し、地域に還元できるような仕組みの構築が必要

令和7年度の主な取組

① あらゆる世代が活躍する地域産業の展開

【拡充】

- (1) アパレルや漆などの地場産業において、若者・女性が活躍できる産業としての魅力発信を行い、人材の確保・育成に向けた取組を推進
【アパレル・漆等いわて価値創造産業支援事業費 600万円【プロ費】】

【継続】

- (1) データ駆動型農業技術の開発・実証や普及推進体制の強化
【データ駆動型農業推進事業費 1100万円【プロ費】】
(2) 生産性向上による地域産業の成長促進や販路拡大等を支援
【北いわての産業成長支援事業費 600万円】



▶ アパレルインターンシップ



▶ 農業者DX人材育成研修

② 北海道・北東北広域交流圏の形成による交流人口の拡大

【拡充】

- (1) 外国人観光客の県内周遊を促進するため、県北・沿岸地域を周遊する旅行商品への交通費支援等を実施
【インバウンドぐるっと県内周遊促進事業費 1500万円【プロ費】】
(2) 交流人口・関係人口の拡大を図るため、県北地域資源とアクティビティを組み合わせ「北いわてアドベンチャーツーリズム」等を推進
【北いわて広域連携観光推進事業費 800万円】

【継続】

- (1) 北海道・北東北縄文遺跡群の国内外への情報発信
【世界遺産保存活用事業費 1000万円】



▶ 御所野遺跡

出典：JOMON ARCHIVES
(一戸町教育委員会撮影)

③ 豊富な再生可能エネルギー資源を生かした地域の振興

【継続】

- (1) 沿岸北部等の海洋再生可能エネルギーの発電事業化に向けて、ビジョンの策定や各地域の状況に応じた官民が連携した推進体制の構築等の取組を実施
【海洋エネルギー関連産業創出推進事業費 400万円【プロ費】】
(2) バイオマス資源を生かした経済循環モデルの確立
【北いわてバイオマス資源活用推進事業費 300万円】
(3) 農業における環境負荷低減技術などのモデル実証等を実施
【高収益園芸作物DX・GX導入実証事業費 1000万円】



▶ バイオ炭との混合堆肥の施用

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト」の展開

目指す姿 あらゆる世代がいきいきと暮らし持続的に発展するゾーンの創造 (①地域産業の展開 ②北海道・北東北広域交流圏の形成 ③再生可能エネルギー資源の活用 ④中山間地における快適な社会の形成 ⑤未来を担う人材の育成 ⑥多様な主体の参画と協働)

今後の展望・現状・課題

④ 中山間地における快適な社会の形成

【今後の展望】

持続的なコミュニティ再生の仕組みを創出し、地域に応じた導入を促進

【現状】

(1) **新技術を生かしたデマンド交通、遠隔診療などの取組の拡大**や、コミュニティを守り、育てる取組が各地で展開

【課題】

(1) 買い物や通院の移動手段など、**中山間地域における日常生活を支える仕組み**が必要

⑤ 地域の未来を担う人材の育成

【今後の展望】

県内外の大学の知見を生かし、**地域に学び、地域に貢献できる人材**を育成

【現状】

(1) 岩手県立大学に設置された「東京大学COI-NEXTプロジェクト岩手サテライト」が、**小中学校や高等学校等で脱炭素・未来ワークショップ等を実施**

【課題】

(1) **地域の資源や魅力を発見し、生かすことができる人材育成の仕組み**が必要

⑥ 多様な主体の参画と協働による地域づくりの推進

【今後の展望】

大学の知見や企業等の技術を生かし、将来を見据えた地域課題の解決を推進

【現状】

(1) 東京大学を中心に国内外の大学や企業、行政等多様な主体が、**ゼロカーボンと豊かさ**が両立する社会構築を目指す**COI-NEXT**の取組に参画し、北いわての各地で研究開発や人材育成の取組を展開

(2) 岩手大学を中心に、県や県北部6市町村・民間団体等が参画し、**畜産を核とした地域活性化モデルの構築を目指す新しいCOI-NEXTの取組が開始** (育成型：R6～R7)

【課題】

(1) **大学の知見、企業等の技術と地域課題のマッチング**の円滑化及び取組の加速が必要

令和7年度の主な取組

④ 中山間地における快適な社会の形成

【継続】

- (1) **廃校を中山間地域における社会拠点として活用**することを促進するため、市町村職員向けの研修・ワークショップを実施
【北いわてプラチナシティ推進事業費 6百万円 [プロ費]】
- (2) **買い物・通院等の移動支援**を促進するための研究会・フォーラムを開催
【活力ある小集落支援推進事業費 2百万円 [プロ費]】
- (3) **共同配送管理システムやドローン等を活用したスマート物流**の社会実装実現を目指す取組を実施
【スマート物流等社会実装促進事業費 1百万円 [プロ費]】



▶ 廃校活用のイメージ

⑤ 地域の未来を担う人材の育成

【継続】

- (1) 農業大学校の研修機能強化として「**いわてグリーン農業アカデミー**」を実施【北いわてグリーン農業人材育成事業費 3百万円】
- (2) **女性や若者等が働きやすい職場環境づくりや地元就職、移住定住に向けた取組**の推進
【北いわて仕事・暮らしサポート事業費 5百万円】
- (3) 高校生を対象として、**地域の未来と在りたい姿を考える脱炭素・未来ワークショップ**を開催
【東京大学 COI-NEXTプロジェクト 岩手サテライト】



▶ グリーン農業アカデミー



▶ 高校でのワークショップ

⑥ 多様な主体の参画と協働による地域づくりの推進

【継続】

- (1) 産学官の力を結集した、北いわてが有するポテンシャルと新技術等を生かした取組により、**北いわての産業振興と地域づくりを一体的に推進**
【北いわてプラチナシティ推進事業費 6百万円 [プロ費]】
- (2) 大学の高度な知見を生かし、**ゼロカーボンと生活の豊かさの両立を目指す研究・実証**を実施
【東京大学 COI-NEXTプロジェクト 岩手サテライト】
- (3) **循環型飼料生産流通システムの構築に向けた研究を開始**し、令和8年度からの本格型の採択を目指しプロジェクトの構想・計画を具体化
【岩手大学 COI-NEXTプロジェクト】



▶ 産学官シンポジウム

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「活力ある小集落実現プロジェクト」の展開

目指す姿 将来にわたり持続可能な活力ある地域コミュニティの実現（①日常生活の支援や世代間交流の促進 ②人と人とのつながりを守り、育てる仕組みの構築 ③連携体制の構築）

今後の展望・現状・課題

① 第4次産業革命技術を活用した日常生活の支援や世代間交流の促進

【今後の展望】

人手不足が進む地域において、ICTやAIなど先端技術の活用により日常生活を支援

【現状】

- ・中山間地域におけるドローンを活用した地域課題解決に向けた実証実験を展開
- ・AI配車システムによるデマンド交通の本格運行や実証運行の取組が拡大
- ・通院困難者向けに、「遠隔診療車」を活用した「モバイルクリニック」の取組が開始

【課題】

- ・先端技術を地域課題の解決につなげるための環境整備が必要

② 人と人とのつながりを守り、育てる仕組みの構築

【今後の展望】

持続的なコミュニティ再生の仕組みを創出し、地域に応じた導入を促進

【現状】

- ・中山間地における集落機能の維持に向けて「農村型地域運営組織（農村RMO）」に取り組む組織への支援を実施
- ・二戸市において地域交流拠点となりうる駅舎を活用したにぎわい創出の実証事業を開始

【課題】

- ・地域資源を生かした事業推進体制の確立、仕組み作りが必要
- ・買い物や通院の移動手段など、中山間地域における日常生活を支える仕組みが必要

③ プロジェクト推進に向けた連携体制の構築

【今後の展望】

市町村や大学、民間企業等多様な主体の参画を促し、地域の実情・課題に応じた連携体制を構築

【現状】

- ・有識者と関係市町村で構成する「活力ある小集落実現プロジェクト研究会」において、市町村の個別地域課題解決に向けた検討を実施

【課題】

- ・研究会への小規模市町村等の参画拡大や、取組の情報発信が必要

令和7年度の主な取組

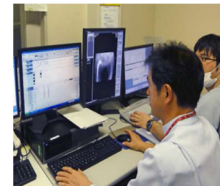
① 第4次産業革命技術を活用した日常生活の支援や世代間交流の促進

【継続】

- (1) **共同配送管理システムやドローン等を活用したスマート物流の社会実装実現**を目指す取組を実施
【スマート物流等社会実装促進事業費 1百万円【プロ費】】
- (2) **遠隔医療に係る設備整備に要する経費を支援**することにより、県内医療機関の導入を促進
【遠隔医療設備整備費補助 23百万円】
- (3) **県立病院間でのオンライン診療の活用**により、最寄りの県立病院で専門的な医療を受けられ、患者（施設入所者含む）・家族の通院負担軽減等に寄与（医療）



▶ドローン配送実験



▶オンライン診療

② 人と人とのつながりを守り、育てる仕組みの構築

【拡充】

- (1) **外部人材が地域課題解決に関わる機会を創出する「遠恋複業課」の推進**【人口減少対応型関係人口推進事業費 9百万円【プロ費】】

【継続】

- (1) **買い物・通院等の移動支援を促進**するための研究会・フォーラムを開催
【活力ある小集落支援推進事業費 2百万円【プロ費】】
- (2) **地域おこし協力隊の受入れ体制の強化及び隊員の活動・定住の支援**
【地域おこし協力隊活動支援事業費 3百万円【プロ費】】
- (3) **農村RMOの形成**に向けて取り組む地域に対し、**中間支援組織等との連携による支援**を実施
【中山間地農業農村活性化推進対策事業費 72百万円】



▶協力隊受入れに関する職員向けワークショップ



▶農村RMOフォーラム

③ プロジェクト推進に向けた連携体制の構築

【継続】

- (1) 「**活力ある小集落実現プロジェクト研究会**」において、小規模市町村や民間企業の参画を拡大し、具体的な地域課題の解決に取り組む
【活力ある小集落支援推進事業費 2百万円【プロ費】】

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「農林水産業高度化推進プロジェクト」の展開

目指す姿 飛躍的な生産性の向上や、農林水産物の新たな価値の創出等の取組を通じて、農林水産業の高度化を推進し、収益性の高い農林水産業を実現（①農業生産性革命の推進 ②林業の成長産業化の推進 ③攻めの地域漁業の推進 ④農山漁村の活性化）

今後の展望・現状・課題

① 先端技術の活用等による農業生産性革命の推進

【今後の展望】

ゲノム解析技術を活用したコメの**新品種開発**や優良種雄牛の**造成**とともに、**環境制御技術の導入**による野菜の増収などにより、**飛躍的な生産性・収益力向上**を実現していく

【現状】

- (1) **DNAマーカー選抜技術の活用により、県オリジナル水稻新品種「白銀のひかり」を開発**
⇒ 来年の本格栽培に向けたモデルほ場を設置（12箇所：約300アール）
- (2) **県開発の低コスト環境制御技術により、トマトやピーマンの増収を実現**
⇒ 慣行の栽培に比較し、ほうれんそうの収量を最大30%アップ
- (3) **ゲノム解析技術等により、全国トップクラスの優良な県有種雄牛を造成**
⇒ 枝肉重量などの検定成績で県歴代最高を更新した「菊美翔平」を造成

【課題】

- (1) 気候変動に対応した**高温登熟耐性を持つ水稻品種の開発**が必要
- (2) **環境制御技術の導入推進**やデータ駆動型農業の実装が必要
- (3) **産地競争力の強化**に向けた**優良な県有種雄牛の造成**が必要

② 豊富で多様な森林資源を活用した林業の成長産業化の推進

【今後の展望】

高性能林業機械や航空レーザ計測技術の導入による**スマート林業の推進**とともに、**広葉樹の更なる高付加価値化**などにより、**森林の新たな価値や需要の創出**を実現していく

【現状】

- (1) **人工的に温度・湿度をコントロールする県独自の広葉樹材の乾燥技術を開発**
⇒ 資源量全国2位の広葉樹（ナラ、クワ等）の利用拡大
- (2) **森林クラウドシステムや高性能林業機械の導入により、林業生産の効率化を加速**
⇒ クラウド：全市町村導入、林業機械：H28 273台 → R4 505台

【課題】

- (1) 本県に豊富にある**広葉樹の木材加工技術の向上**、販路開拓が必要
- (2) **スマート林業技術を活用した森林の管理**等が必要

令和7年度の主な取組

① 先端技術の活用等による農業生産性革命の推進

【新規】

- (1) **沖縄県と連携した高温登熟耐性を持つ水稻品種の早期開発**
【高温登熟耐性水稻品種開発加速化プロジェクト事業費 3百万円【プロ費】】
- (2) **沿岸への大規模な園芸施設を整備する企業の誘致に向けた取組の推進**
【大規模施設園芸企業誘致促進事業費 3百万円【プロ費】】
- (3) **AIによる放牧監視、無人トラクタによる飼料生産の実証**
【飼料生産基盤DX導入実証事業費 5百万円】
- (4) **県オリジナル水稻新品種「白銀のひかり」の安定生産、評価向上**
【オリジナル水稻新品種プロモーション事業費 3百万円】

【拡充】

- (1) **ゲノム育種価等を活用した産肉能力に優れた県有種雄牛の造成**
【家畜改良増殖対策事業費（いわて和牛改良増殖対策事業費） 37百万円】

【継続】

- (1) データ駆動型農業技術の開発・実証や普及推進体制の強化
【データ駆動型農業推進事業費 11百万円【プロ費】】
- (2) 加工・業務用野菜の生産拡大【高収益園芸作物DX・GX導入実証事業費 10百万円】



▶ 沖縄農研での栽培試験



▶ いわて銀河農園



▶ R5造成「菊美翔平」

② 豊富で多様な森林資源を活用した林業の成長産業化の推進

【拡充】

- (1) **広葉樹材の加工工場への技術指導、県外の新たな取引先の開拓**
【いわての県産木材利用促進事業費（需要創出・販路拡大事業） 5百万円】
- (2) **ドローンを活用した測量・施行地確認技術の普及**
【岩手県緑の担い手確保・育成事業費 7百万円】

【継続】

- (1) 関連データの整備、利用者を対象とした操作研修会等の実施
【森林クラウドシステム整備事業費 59百万円】
- (2) リースによる高性能林業機械等の導入を支援
【森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策事業費（林業機械リース支援事業費補助） 7百万円】



▶ ドローンで撮影したオルソ画像を活用



▶ 高性能林業機械

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「農林水産業高度化推進プロジェクト」の展開

今後の展望・現状・課題

③ 生産技術の高度化や水産資源の造成等による攻めの地域漁業の推進

【今後の展望】

ゲノム解析技術等を活用した高水温に強いサケ種苗の造成、養殖サーモンの生産拡大、市場性の高い水産物の導入などにより、高度なつくり育てる漁業を実現していく

【現状】

- (1) バイテク技術による海面養殖サーモンの県産種卵の量産技術を開発
⇒ R 5 : 生産技術開発、R 6 : 技術確立の試験中
- (2) 水揚げが増加しているマイワシ・ブリ資源等の新たな販路モデルを実証
⇒ 高鮮度物流 : 2 件、海外普及 : 1 件、地産地消 : 1 件、ALPS関連 : 2 件
- (3) 貝毒の発生により、ホタテガイ等の出荷規制が広域化・長期化
⇒ 貝毒の影響を受けにくいアサリの養殖技術の開発
- (4) 本県海域で「ヨーロッパヒラガキ（欧州原産）」の定着を確認
⇒ ワインに合う高級カキとして、新たな特産品の期待

【課題】

- (1) 県産養殖サーモンの更なる生産拡大が必要
- (2) 水揚げが増加する水産物等の利用に向け、生産・加工等の連携強化が必要
- (3) 高水温化など海洋環境の変化に対応した生産技術の開発・普及が必要

④ 個性が輝く地域資源を活用した農山漁村の活性化

【今後の展望】

SNS等を活用した都市と農山漁村の情報共有による交流活動の拡大とともに、海業の理解醸成やビジネスモデルの構築などにより、農山漁村の活性化を実現していく

【現状】

- (1) 農林漁家民泊が減少する中、グリーンツーリズムの交流人口が回復傾向
⇒ 体験型教育旅行等の交流人口が増加傾向
- (2) 海業の促進に向け、漁港を活用した漁業体験ツアー等のビジネスモデルを実証
⇒ 海業の理解醸成やビジネスモデルの構築などの取組への支援

【課題】

- (1) グリーンツーリズムの受入拡大に向け、体制の強化や活動の活性化が必要
- (2) 地域資源を活用した海業のビジネスモデルづくりが必要

令和 7 年度の主な取組

③ 生産技術の高度化や水産資源の造成等による攻めの地域漁業の推進

【新規】

- (1) 高水温耐性を持つ県オリジナルサクラマス種苗の開発、サケふ化場を有効活用した効率的な種苗生産の実証
【マーケットイン型サーモン養殖推進事業費 3 百万円【プロ費】】
- (2) 県産サーモンの販売促進に向けた取組等の実施
【いわて三陸海洋環境変化対応型養殖推進事業費 6 百万円（沿岸局）】



▶ サケふ化場を有効活用

【拡充】

- (1) 水揚げが増加している水産物等の販路・物流モデルの構築、生産分野と流通・加工分野の連携強化
【新たな水産資源利活用モデル開発事業費 4 百万円】
- (2) 高水温に適応したワカメ種苗の開発、アサリやヨーロッパヒラガキ養殖の検証
【養殖業振興事業費 4 百万円】



▶ ヨーロッパヒラガキ

【継続】

- (1) 大型で遊泳力の高い強靱なサケ稚魚の生産技術の開発、稚魚放流の支援
【さけ、ます増殖緊急強化対策事業費 48 百万円】

④ 個性が輝く地域資源を活用した農山漁村の活性化

【新規】

- (1) 教育旅行等の受入体制強化プランの策定支援、活性化セミナーの開催
【農山漁村体験受入体制強化対策事業費 3 百万円】

【拡充】

- (1) 女性農林漁業者の就業・活動の動画を県公式YouTube等で情報発信
【幸せ創る女性農林漁業者育成事業費 9 百万円】



▶ サッパ船クルーズ

【継続】

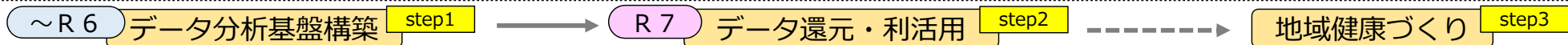
- (1) 海業シンポジウムの開催、地域資源を活用した海業のビジネスモデルづくりの支援
【海業推進モデル事業費 10 百万円】



▶ ウニの殻むき体験

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「健幸づくりプロジェクト」の展開

目指す姿 健康寿命が長くいきいきと暮らすことのできる社会の実現



今後の展望・現状・課題

① 個別疾患を抽出するシステムの構築

【今後の展望】

脳卒中患者データ抽出システムの成果や課題について検証し、効果的に活用

【現状】 電子カルテから脳卒中患者データを抽出する機能を開発

【課題】 開発した抽出アルゴリズムの効果検証と活用

② 健康・医療・介護データを連結する連携基盤の構築

【今後の展望】

健康・医療・介護データを連結したデータ分析・見える化により、市町村等の健康施策の立案・実行を支援

データ活用人材の育成・スキルアップにより、分析結果を活かした健康づくりの取組が進展

大学等の外部研究機関等との連携による共同研究等の取組が拡大

【現状】

(1) 県内の健康・医療・介護データを集積し、分析を行う「岩手県医療等ビッグデータ利活用システム」を構築 ※集積レセプト等 約8,600万件 (R6.11月末時点)

(2) 基本となる9種の分析を実施し、分析結果を市町村等へ提供

(3) 社会保障・人口問題研究所、岩手医科大学、武田薬品工業㈱と連携し、生活習慣病などの**本県の健康課題に即した共同研究を実施**

【課題】

(1) 市町村等において、分析結果を用いた効果的な健康施策の立案・実行への活用を促進するため、**データ活用人材の育成・スキルアップ**や**活用方法等の検討**が必要

(2) 本県の健康課題に即した、より高度な分析を行うため、大学等の**外部研究機関等との連携による共同研究等の取組を拡大**

③ ビッグデータを活用した健康対策の推進

【今後の展望】

ビッグデータの分析結果を活用し、県民の健康づくりへの関心を高め、行動変容につながる情報を発信

西和賀町のPHR実証事業を通じて、PHR導入の効果等を検証し、横展開を検討

【現状】

(1) 県民の健康増進につながる情報を発信する「いわて健康情報ポータルサイト」を公開

(2) 西和賀町において、PHR(パーソナルヘルスレポート)事業を試験運用

【課題】

(1) 県民の健康づくりへの関心を高め行動変容につなげるために、**分かりやすく効果的な情報発信**が必要

(2) PHR導入による効果等の検証と他地域への展開の検討

令和7年度の主な取組【健幸づくりプロジェクト推進費 16百万円【プロ費】】

① 個別疾患を抽出するシステムの構築

【継続】

(1) 岩手医大において研究している、脳卒中患者データの抽出精度の検証や脳卒中発症モニタリングシステムへの活用について情報収集

② 健康・医療・介護データを連結する連携基盤の構築

【新規】

(1) データ活用から施策の立案・実践につなげる人材の育成を図るため、市町村・保健所等の職員を対象に、「**医療等ビッグデータ利活用スキルアップセミナー**」(仮称)を開催

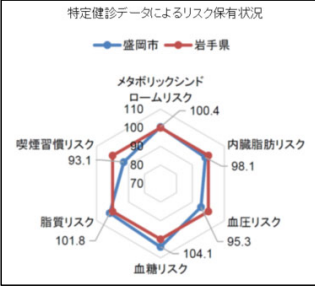
【拡充】

(1) 地域の健康づくりの企画立案に活かしていただくため、地域保健活動の実践者や分析の専門家等の有識者で構成する「医療等ビッグデータの分析に関するワーキンググループ」を設置し、現在行っている9種の基本的な分析を基に、**地域課題に即した取組を促す手法等について検討**

(2) 大学等の**外部研究機関等との連携した取組(共同研究等)を強化**し、本県の健康課題に即した、より高度な分析を実施

【継続】

(1) 保険者から健康・医療・介護データを収集し、俯瞰的分析を行うとともに、分析結果を市町村等に提供することで、健康課題の見える化を促進し、課題に対応した効果的な取組を支援



③ ビッグデータを活用した健康対策の推進

【新規】

(1) プロジェクトワーキンググループにおいて、「いわて健康経営認定事業所」や「いわて働き方改革参加事業所」等の**各部局の取組と連携した効果的な情報発信**を行い、県内の健康経営事業者の拡大を図るとともに、個人の健康づくり機運を醸成

【拡充】

(1) 県民の健康づくりへの関心が高まり行動変容につながるよう、ビッグデータの**分析結果を分かりやすく興味を引く内容にまとめ**、「いわて健康情報ポータルサイト」等により発信

【継続】

(1) PHR導入による効果等について検証を継続するとともに、他地域への展開を検討



▶いわて健康情報ポータルサイト

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「学びの改革プロジェクト」の展開

目指す姿 就学前から高校教育までの質が高く切れ目のない教育環境の構築を通じて、新たな社会を創造し、岩手県の未来をけん引する人材の育成

今後の展望・現状・課題

① タブレット等のICT機器を活用した学習指導方法の研究・開発等による習熟度や学習環境等に応じた教育の推進

【今後の展望】

- ICT機器を効果的に活用するための整備の充実
- 遠隔授業システム的环境整備による受信校や授業配信の拡大
- ICTを活用した社会教育施設等と学校との連携

【現状】子どもたちに必要な資質・能力の育成に向けたICT機器活用環境の整備が加速

➢ 小・中・高校で児童生徒1人1台端末環境が実現し、ICT機器を活用した学習の実施が進む

学校への質問	岩手県	全国
前年度までの授業で児童生徒一人一人に配備されたICT機器を、週3回以上使用した学校	小 83.9%	90.8%
	中 87.8%	93.2%

(R5文科省：教育の情報化の実態調査)

(R6文科省：全国学力・学習状況調査)

➢ 社会教育施設における多様な学習の機会の提供のための整備が進む

【課題】

- ・ 教員のICT活用指導力の更なる向上
- ・ 社会教育施設におけるデジタルライブラリー等の利活用の促進が必要



令和7年度の主な取組

- 【拡充】**
- ・ **GIGAスクール運営支援センター**による市町村教育委員会や学校への支援
【学校教育DX推進事業費 51百万円〔プロ費〕】
 - ・ **社会教育施設における資料のデジタル化**
【社会教育デジタル活用推進事業費 16百万円】
- 【継続】**
- ・ 小規模県立高校に対し、**遠隔授業**による質の高い授業の配信
【遠隔教育による学びの機会充実事業費 7百万円】
 - ・ **デジタルの効果的活用による英語力・数学力向上に向けた取組**
【確かな学力育成加速化事業費 7百万円】



▲遠隔授業の様子

② 幼児・児童・生徒の学びや生活に関するデータを活用した一人ひとりに応じた学習指導、生徒指導等の充実

【今後の展望】

- 諸調査の分析データ等を活用した、組織的検証サイクルモデルの普及
- 国の動向等を踏まえた諸調査へのCBT※の導入
- 全県統一の統合型校務支援システムの効果的活用

※CBT(Computer-based Testing)
：コンピュータ使用型調査

【現状】ICT機器やデータを活用した新たな学習指導・生徒指導の取組が進む

➢ 岩手県クラウド版統合型校務支援システムの運用開始及び効果的運用の推進

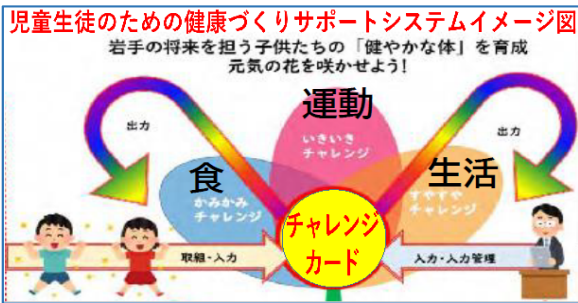
➢ 推進校9校による探究・STEAM教育の実施

統合型校務支援システム 運用開始市町村	令和6年度 先行運用	令和7年度 先行運用	令和8年度 全33市町村統一運用開始
	14	11	8

【課題】

- ・ 探究・STEAM教育の更なる発展
- ・ 県独自の学力調査のCBT化を含めた今後の在り方についての検討

- 【拡充】**
- ・ 児童生徒の健康づくりのための「**デジタル版チャレンジカード**」の導入
【60プラスプロジェクト推進事業費 2百万円】
- 【継続】**
- ・ 推進校による**探究的な学びをSTEAMの視点から深める教育の推進**
【探究・STEAM教育推進事業費 13百万円】
 - ・ 県独自の学力調査の**CBT化**を含めた今後の在り方を検討



③ 教育用AIの共同開発など産業界をはじめとした関係機関との連携による教育分野へのSociety5.0に対応した技術の導入促進

【今後の展望】

- 生成AI等を活用した学習に向けた調査・研究
- 教育分野におけるSociety5.0に対応した技術（IoT・AI・ビッグデータ等）の導入・活用に向けた調査・研究

【現状】教育の質と学ぶ機会の充実に向けた学校教育の深化と進化

➢ 生成AIの授業での活用（総合教育センターと協力校による研究）

➢ 先進校における地元の企業や様々な関係機関との連携

【課題】

- ・ 情報活用能力を育む教育活動の一層の充実



- 【新規】**
- ・ **生成AI**等を活用した校務及び授業実践例の蓄積と、国や他県の先進事例の収集
- 【継続】**
- ・ **生成AI**等を活用した校務及び授業づくりに関する調査・研究
 - ・ DXハイスchool事業による**ICTを活用した探究的・文理横断的・実践的な学びの推進や理数系教育の推進、情報教育の強化・充実**
【高等学校DX加速化推進事業費 200百万円】
 - ・ 高等学校における**地元の企業や研究機関等との連携の推進**

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「文化・スポーツレガシープロジェクト」の展開

目指す姿 県内各地で文化芸術・スポーツの「特色あるまちづくり」が進展
～地域資源や強みを生かし、文化芸術・スポーツにあふれた活力ある地域づくりを目指して～

今後の展望・現状・課題

① 文化芸術の力を一層発揮するための環境づくりと人的・経済的交流の推進

【今後の展望】

文化芸術の地域資源や強みを生かした活力ある地域づくりの推進

【現状と課題】

- ・国内最多の**3つの世界遺産**や指定数日本一を誇る**無形民俗文化財**など、**各地域の強み**を生かした地域活性化を行う必要がある。
- ・**障がい者芸術**や**マンガを通じた岩手の魅力発信**など、新しい**岩手県の特長**を生かした魅力向上を行う必要がある。
- ・**復興支援などのつながり**を生かし、子どもたちを中心に国内外との交流を推進する必要がある。
- ・**官民一体による文化芸術推進体制**による取組を推進する必要がある。



▶北海道・東北ブロック民俗芸能大会



▶橋野鉄鉾山



▶さんりく音楽祭2024

② スポーツの力による健康社会の実現と人的・経済的交流の推進

【今後の展望】

スポーツの地域資源や強みを生かした活力ある地域づくりの推進

【現状と課題】

- ・**誰もがスポーツを楽しむ**ことができる環境の整備、**各地域の特色**を生かしたスポーツ拠点づくりを推進する必要がある。
- ・**最新のスポーツ医・科学の知見**を生かした競技力向上や健康増進を推進する必要がある。
- ・世界で活躍する**岩手県出身のトップアスリートの育成・輩出**を進め、さらなる地域への誇りと愛着を醸成する必要がある。
- ・**官民一体によるスポーツ推進体制**による取組を推進する必要がある。



▶いわて八幡平白銀国体(R5.2月開催)



▶卓球バレー



▶カヌー体験事業

令和7年度の主な取組

① 文化芸術の力を一層発揮するための環境づくりと人的・経済的交流の推進

【新規】

- (1) **北海道・東北ブロック民俗芸能大会**の開催【北海道・東北ブロック民俗芸能大会開催費 6百万円】
- (2) **マンガ芸術**の資源を生かした岩手ファンの拡大
【いわてマンガ芸術資源活用推進事業費 6百万円【補助費】】
- (3) **多様な関係団体との連携を通じた課題解決や他分野等への波及**による地域活性化の推進
【文化芸術の力を生かした地域づくり事業費 11百万円【補助費】】

【拡充】

- (1) **障がい者芸術**に係る魅力発信【いわてアール・ブリュット未来創造事業費 4百万円】
- (2) **橋野鉄鉾山世界遺産登録10周年**記念事業【県政150周年記念事業費 9百万円】

【継続】

- (1) **「ひらいずみ遺産」**等を活用した地域活性化
【平泉の文化遺産文化観光推進事業費 21百万円【補助費】】
- (2) **復興の絆**を生かした交流の推進
【復興の絆を活かした文化芸術による次世代育成事業費 7百万円【補助費】】

② スポーツの力による健康社会の実現と人的・経済的交流の推進

【新規】

- (1) **「第81回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会」**開催に向けた準備・選手の競技力向上
【第81回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会開催準備費 107百万円】
【第81回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技特別強化推進事業費補助 5百万円【補助費】】

【継続】

- (1) **障がいの有無、性別や年齢に関わらず**、共にスポーツを楽しむ機会を拡大
【インクルーシブスポーツ推進事業費 2百万円【補助費】】
- (2) **トップアスリートの早期発掘・育成**【リハビリ選手等育成・強化事業費 23百万円】
- (3) **スポーツ医・科学**を通じた人材育成や健康増進【スポーツ医・科学サポーター事業費 23百万円】
- (4) **大規模大会**の開催や**合宿**の誘致を通じた、人的・経済的交流の拡大
【地域活性化スポーツ推進事業費 16百万円】
- (5) **多様な関係団体間の連携強化**による地域活性化の推進
【いわてスポーツプラットフォーム推進事業費 1百万円【補助費】】

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「水素利活用推進プロジェクト」の展開

目指す姿 再生可能エネルギー由来の水素の利活用によって、脱炭素化を図り、持続可能な社会を実現

今後の展望・現状・課題

①地域資源の好循環に向けた再生可能エネルギー由来の水素の利活用推進

【今後の展望】

- ・技術開発の進展を踏まえた、製造業、農林水産業や地域交通など活用可能な分野で化石燃料からグリーン水素への燃料転換を促進します。
- ・太陽光発電などの余剰電力を活用した水素の製造・利用などエネルギーの地産地消による地域内経済循環を確立します。

【現状】

- (1) 国では、水素と化石燃料との価格差への支援を行うなど水素社会実現に向けて政策を総動員
- (2) 民間では、工場でのグリーン水素の製造と活用の実証など、試験的な取組を推進
- (3) 県内にも自社のカーボンニュートラルの実現に向け、将来的に燃料転換などとして水素活用の意向をもつ事業者が存在
→今年度、県内でのグリーン水素製造に活用できる再エネ余剰電力のポテンシャル調査等を実施中

【課題】

- (1) 水素製造に利用できる再エネ電力等のポテンシャル（余剰電力等）と企業ニーズの把握が必要
- (2) 水素需要と水素供給とのマッチングによる利活用モデルの構築が必要

②水素関連製品等の普及促進

【今後の展望】

- ・技術開発の進展を踏まえたFCトラックなど物流における脱炭素化の促進と、FCトラック等の普及に併せた水素ステーションの整備を促進します。
- ・旅客運送や、製造・物流におけるサプライチェーンでの水素利活用を促進します。

【現状】

- (1) 水素ステーション・FCV導入費補助を創設するなどの取組を進めてきたが、導入には至っていない

【課題】

- (1) FCV等の水素関連製品の普及促進のためには、運輸部門等の事業者の理解促進が必要

③水素関連ビジネスの創出・育成、④水素の理解促進・地域連携

【今後の展望】

- ・県内での水素の普及等を見据え、メンテナンスなどの水素関連事業者を育成します。
- ・災害時にも活用できる水素関連製品の開発促進やビジネスを創出します。

【現状】

- (1) 水素関連産業への県内事業者の参画に向けた事業者向けシンポジウムや、県民向けセミナー等を開催

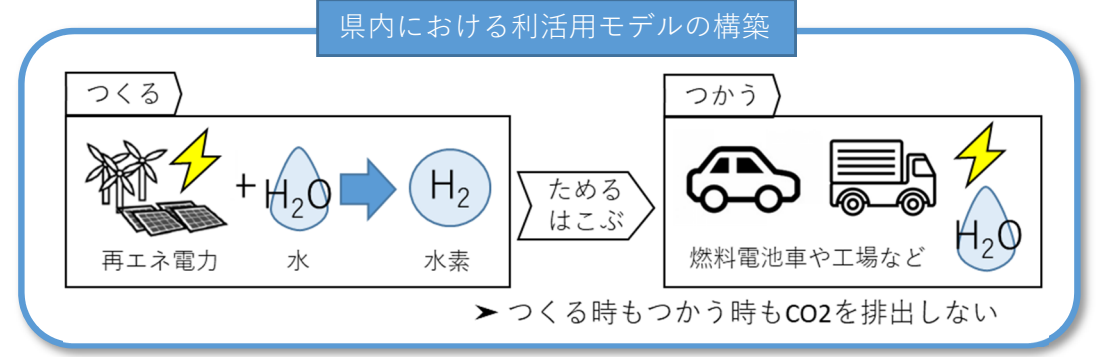
【課題】

- (2) 水素関連産業への参入に向けた更なる機運醸成や理解促進を図る必要

令和7年度の主な取組

①地域資源の好循環に向けた再生可能エネルギー由来の水素の利活用推進

- 水素製造ポテンシャル利活用モデル構築【水素利活用推進事業費：7.4百万円[プロ費]】（継続）
＜産業部門の脱炭素化に寄与＞ 産業部門：2021年度温室効果ガス排出量の構成比24.2%
・令和6年度に実施した水素製造に活用可能な余剰電力の調査結果等を踏まえ、県内でのグリーン水素製造と活用を見据え、県内での利活用モデルの構築を行う



②水素関連製品等の普及促進

- 水素関連製品等普及促進・水素利活用ビジネス創出・地域連携事業【水素利活用推進事業費】〔再掲〕
＜運輸部門の脱炭素化に寄与＞ 運輸部門：2021年度温室効果ガス排出量の構成比16.4%
・物流分野の脱炭素化に向け、運送事業の関係団体・事業者や、水素ステーション等研究会会員との意見交換の実施と、水素利活用の取組紹介等による理解促進セミナー等の開催



③水素関連ビジネスの創出・育成、④水素の理解促進・地域連携

- 水素関連製品等普及促進・水素利活用ビジネス創出・地域連携事業【水素利活用推進事業費】〔再掲〕
＜家庭・業務部門の脱炭素化に寄与＞ 家庭部門：2021年度温室効果ガス排出量の構成比17.7%
業務部門：2021年度温室効果ガス排出量の構成比15.0%
・FCVを中心とした水素関連産業への参入促進及び水素ステーション等研究会会員との意見交換やセミナーの開催などにより、県内企業・県民の機運醸成



新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「人交密度向上プロジェクト」の展開

目指す姿 いつでもどこでも岩手とつながる環境を整備し、**関係人口の質的・量的な拡大を進め、ローカルイノベーションを創出する**

今後の展望・現状・課題

① 岩手県に関する様々な情報やサービスの配信など、いつでも岩手につながることができる環境の整備

【今後の展望】

- (1) 市町村や民間との連携による受入体制の充実や機運の醸成の促進
- (2) 岩手とつながりを持つ方々の増加に向けた観光客のニーズを踏まえた誘客促進

【現状】

- (1) 「いわてのわ」や関係人口ポータルサイト等を活用し**岩手とつながる情報を発信**
- (2) **テレワークやワーケーション、二地域居住といった新しい働き方の拡大**



▶ ワーケーションセミナー & 交流会

【課題】

- (1) 市町村や民間も含めた様々な主体の取組の発信を更に強化
- (2) **U・Iターンや二地域居住の選択肢としての岩手を情報発信**
- (3) 本県への関心の高まりを関係人口・定住人口へと促す取組の推進



▶ いわてワーケーションお試しプログラムin陸前高田

② 岩手へのつながりが地域活動への多様な参加や課題の解決などに結び付く「様々な主体の参画によるネットワークの形成」

【今後の展望】

- (1) ターゲットに対応した、より効果的な手法・内容による統一的・一体的な情報発信の充実
- (2) **UターンやIターンの促進に向けた取組の強化**

【現状】

- (1) 震災からの復興支援を契機とした、**多様な主体との交流の継続**
- (2) 復興防災や世界遺産、三陸ジオパーク、地域公共交通など、**豊富な地域資源が存在**
- (3) 県・市町村における**地域おこし協力隊員の増加**（R5：266名）
- (4) 地域主体の戦略的な誘客に向けた、データ活用による**マーケティングプラットフォーム（DMP）の構築**

令和7年度の主な取組

① 岩手県に関する様々な情報やサービスの配信など、いつでも岩手につながることができる環境の整備

【新規】

- (1) **メディア芸術の資源を生かした岩手ファンの拡大**

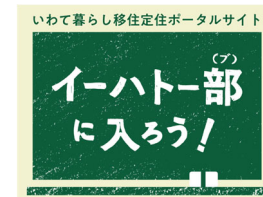
【いわてメディア芸術資源活用推進事業費 6百万円【プロ費】】



▶ ミニマム動画コンテスト入賞作品

【継続】

- (1) ふるさと岩手応援寄付を通じた本県の魅力の情報発信
【ふるさと岩手応援寄付募集費 123百万円】
- (2) 「イーハトー部に入ろう！」によるいわて暮らしの魅力発信
【いわて移住・定住促進事業費 36百万円】



▶ イーハトー部に入ろう！

② 岩手へのつながりが地域活動への多様な参加や課題の解決などに結び付く「様々な主体の参画によるネットワークの形成」

【新規】

- (1) (公財)さんりく基金との連携による**三陸の観光産業等の振興を図る新体制構築に向けた検討**

【三陸総合振興体制構築支援事業費 14百万円【プロ費】】



▶ 訪日外国人が県産水産品を試食

- (2) **南米岩手県人会への次世代人材の派遣・交流による関係人口創出**
【南米と岩手を結ぶ関係人口創出事業費 3百万円【プロ費】】

【継続】

- (1) **訪日外国人のための県産品プロモーション**

【インバウンド消費拡大推進事業費 6百万円【プロ費】】



▶ 南米県人会との交流

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「人交密度向上プロジェクト」の展開

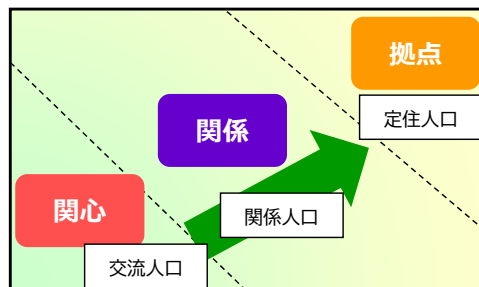
目指す姿 いつでもどこでも岩手とつながる環境を整備し、**関係人口の質的・量的な拡大を進め、**
ローカルイノベーションを創出する

今後の展望・現状・課題

② 岩手へのつながりが地域活動への多様な参加や課題の解決などに結び付く「様々な主体の参画によるネットワークの形成」 続き

【課題】

- (1) 多様な主体の連携によるネットワークづくり、地域における受入に向けた機運の醸成
- (2) 将来的なU・Iターン等に向けた若者同士のつながり、本県との関わりの強化
- (3) 地域おこし協力隊の活動支援、任期終了後の**定住に向けた取組強化**
- (4) **新たなつながりづくりのきっかけとなる観光客の誘客**に向け、インバウンドの拡大やデジタルマーケティングの推進



▶地域おこし協力隊受入のための市町村職員研修

令和7年度の主な取組

② 岩手へのつながりが地域活動への多様な参加や課題の解決などに結び付く「様々な主体の参画によるネットワークの形成」 続き

【拡充】

- (1) **知事のトップセールスによる外国人観光客向けの情報発信や県産品プロモーション**
【海外輸出力強化事業費 41百万円【プロ費】】
【いわての食財海外販路開拓・魅力発信事業費 16百万円【プロ費】】
- (2) **東・東南アジア市場向け本県の認知度向上プロモーション**
【世界が訪れたくなる東北・岩手広域周遊促進プロモーション事業費 16百万円【プロ費】】
【海外輸出力強化事業費:再掲 41百万円【プロ費】】

【継続】

- (1) 地域おこし協力隊の受入拡大、活動の充実及び定着促進に向けた取組
【地域おこし協力隊活動支援事業費 3百万円【プロ費】】
- (2) 三陸の地域資源と防災学習を活用した大学現地ゼミ等の誘致
【新しい三陸振興推進費 2百万円】
- (3) いわて若者カフェやフォーラムの開催
【いわて若者活躍支援強化事業費 24百万円】
- (4) いわて観光DMPを活用したデジタルマーケティングの推進
【いわての新しい観光推進体制整備事業費 25百万円【プロ費】】



▶知事トップセールスによる「いわてフェア」



▶若者カフェ連携交流ミーティング

③ 情報通信技術（ICT）を活用したライフスタイルに合わせた働き方、地域貢献活動など多様な交流の場の創出

【今後の展望】

- (1) 岩手らしさを生かしながら、外部人材が参画する**多様な交流機会を提供**
- (2) 外部人材と地域課題解決を希望する地域団体・企業の**掘り起こし・マッチングの促進**

【現状】

- (1) 地方への人の流れ、農業に関わりたい方の増加に対する支援の不足
- (2) 外部人材が地域課題解決に様々な形で関わる機会を創出する
「遠恋複業課」の実施

【課題】

- (1) 就農・農村暮らしに関する農村体験機会の更なる提供
- (2) 遠恋複業課における外部人材と地域のマッチングの質・量の向上



▶「遠恋複業課」首都圏複業人材向けセミナー

③ 情報通信技術（ICT）を活用したライフスタイルに合わせた働き方、地域貢献活動など多様な交流の場の創出

【拡充】

- (1) **外部人材が地域課題解決に関わる機会を創出する「遠恋複業課」の推進**
【人口減少対応型関係人口推進事業費 9百万円【プロ費】】

【継続】

- (1) 駅舎等を活用した地域の賑わい再生
【活力ある小集落支援推進事業費 2百万円【プロ費】】
- (2) 県外学生等へのアルバイト機会の提供による関係人口づくり
【いわての観光業魅力向上事業費 4百万円】
- (3) 多様な旅行者ニーズに対応できる実践者育成講座の開催等
【こころ高まる農山漁村感動体験創出事業費 2百万円】



▶駅舎での中高生向けワークショップ



▶グリーン・ツーリズムスタディ（大槌町）

広域振興圏の施策の推進に係るポイント

基本的な考え方

○各広域振興圏の地域振興プランのもと、政策推進プランや復興推進プランに掲げる施策等と連携しながら、①**広域振興局と市町村との連携**、②**県北・沿岸圏域の地域資源の活用**、③**人口減少対策**、④**各広域振興圏の特性に合わせた地域課題の解決**などの取組を推進

広域振興局と市町村との連携の推進

主な事業		
○	地域経営推進費 各地域の地域振興や地域課題の解決に向け、きめ細かな事業を実施するとともに、現場主義に立脚した完結性の高い広域行政等に向けた市町村の取組の支援に加え、市町村との更なる連携の強化を図り市町村が行う人口減少対策等の取組を支援	470 百万円 [ふるさと振興部]

県北・沿岸圏域の地域資源を活用した取組

主な事業		
新 ○	いわて三陸海洋環境変化対応型養殖推進事業費 ホタテやマガキの養殖方法の改良や、サーモン養殖生産量の増大に向けた技術の開発、販路拡大の取組を実施	6 百万円 [沿岸局]
拡 ○	北いわて広域連携観光推進事業費 テーマ性のある高付加価値の広域周遊ルートの構築を図るとともに、新たに八戸圏域からの誘客促進と特色ある地域資源の魅力の発信を実施	8 百万円 [県北局]

人口減少対策に呼応した取組（移住・定住関連）

主な事業		
新 ○	盛岡広域滞在型関係人口創出事業費 3 百万円 [盛岡局] 来訪者の希望に沿った滞在型就業体験等のコーディネートを実施	拡 ○ いわて三陸地域連携移住定住等促進事業費 3 百万円 [沿岸局] 市町村と連携し、沿岸圏域の仕事・就労に関する情報発信の充実新たに取組むほか、移住希望者等への支援態勢の強化に向けた取組を実施
○	県南地域移住定住・定着促進事業費 3 百万円 [県南局] 移住セミナーや移住者等を対象とした交流会を開催	拡 ○ 北いわて仕事・暮らしサポート事業費 5 百万円 [県北局] 管内市町村と連携した移住定住施策等を推進するとともに、新たに経営層向けのセミナーや進学希望の高校生向けの企業訪問ツアー等を実施
○	関係人口・つながり強化事業費 2 百万円 [県南局] 仙台圏学生のワークショップや誘致企業でのワーケーション促進を実施	

各広域振興圏の特性に合わせた地域課題の解決

主な事業		
○	みらいもりおか人材確保推進事業費 2 百万円 [盛岡局] 多様な産業のデジタル化・DXの推進を担う人材の育成・確保等を実施	拡 ○ いわて三陸水産加工業等経営力強化事業費 2 百万円 [沿岸局] コンサルティング会社と連携した水産加工業者への経営支援を拡充
拡 ○	北上川流域産業DX推進事業費 6 百万円 [県南局] 教育機関と連携した新たなDX人材育成、データ駆動型農業普及支援	○ 北いわての産業成長支援事業費 6 百万円 [県北局] 食産業やアパレル産業など特徴的な地域産業の情報発信等を支援

持続可能な行財政基盤の構築に向けた取組の状況

財政目標の達成状況

当初予算編成において、あらゆる歳入確保、歳出水準の適正化等の取組を進めた結果、財政目標は4項目すべてを達成。引き続き、持続可能な行財政基盤の構築に向けて財政健全化を着実に推進。

なお、物価高騰等の「公共施設に係る県民一人当たり負担額」への影響については、注視が必要。

財政目標	対象 時期	R7当初予算 時点の状況	達成状況	【参考】 R6当初予算時点の状況
①令和10年度当初予算までに収支均衡予算を実現	当初	取崩 60億円	達成	取崩 80億円
②プライマリーバランスの黒字維持	当初	黒字 392億円	達成	黒字 402億円
③公共施設に係る県民一人当たり負担額12,000円以下	決算	【参考】 11,992円程度	達成見込	11,400円程度
④財政調整基金の現行水準の維持（令和2年度残高177億円）	決算	【参考】 260億円程度	達成見込	230億円程度

当初予算収支ギャップの状況（第2期行政経営プラン等）（単位：億円）

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
目標	121	100	80	60	40	20	0
実績	121	86	80	60	—	—	—

プライマリーバランスの状況（単位：億円、%）

	R6当初	R7当初	差引	増減率
県債発行額①	440	468	+28	+6.4
元金償還額②	842	860	+18	+2.2
プライマリーバランス（②－①）	402	392	▲10	▲2.4

あらゆる歳入確保策

- ・ GX関連事業に充当する資金を調達するため、前年度に引き続きグリーン/ブルーボンドを発行。（60億円程度）
- ・ あらゆる歳入確保により、基金の長期資金運用、ふるさと納税の更なる魅力化、電気事業会計からの繰入などの取組を進め、約14億円の財源を確保。
- ・ 新しい地方経済・生活環境創生交付金等の国費や有利な地方債など、地方財政措置を最大限活用。

歳出水準の適正化

R7当初予算編成においては、予算要求・調整基準においてシーリングを設定するとともに、様々な主体との役割分担や政策評価結果等を踏まえた積極的な見直しや再構築を行い、ゼロベースで事業の必要性和優先順位を見極めて重点化を図るなど、予算調整を通じて歳出水準の見直しを徹底した結果、51事業を廃止・縮減し、2億円の財源（県債＋一般財源）を捻出。

(参考) プライマリーバランス及び財政調整基金残高の推移

プライマリーバランス及び県債残高の推移

- ・ 将来世代に健全な財政基盤を引き継いでいくため、県債残高を安定的に引き下げていく必要。
- ・ プライマリーバランスは392億円の黒字となり、当初予算において14年連続の黒字を達成。
- ・ R⑦当初予算後の県債残高は1兆1,300億円程度の見込み。臨時財政対策債を除く県債残高は7,400億円程度で、ピーク時と比べ6割程度の水準まで低下。

当初予算におけるプライマリーバランスの推移

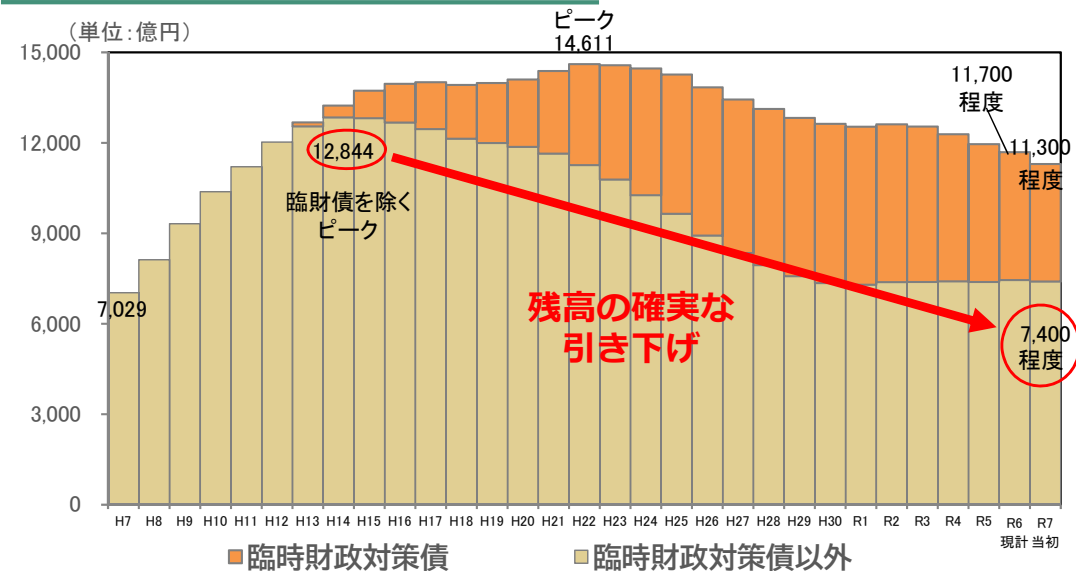
H22	H23	H24	H25～R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
277 (赤)	45 (赤)	74 (黒)	232～394 (黒)	153 (黒)	71 (黒)	304 (黒)	418 (黒)	402 (黒)	392 (黒字)

- ・ 本県においては、「元金償還額－県債発行額」をプライマリーバランスと定義。
- ・ H23は当初予算が骨格予算だったため、肉付予算後の額を記載。

財政調整基金残高の推移

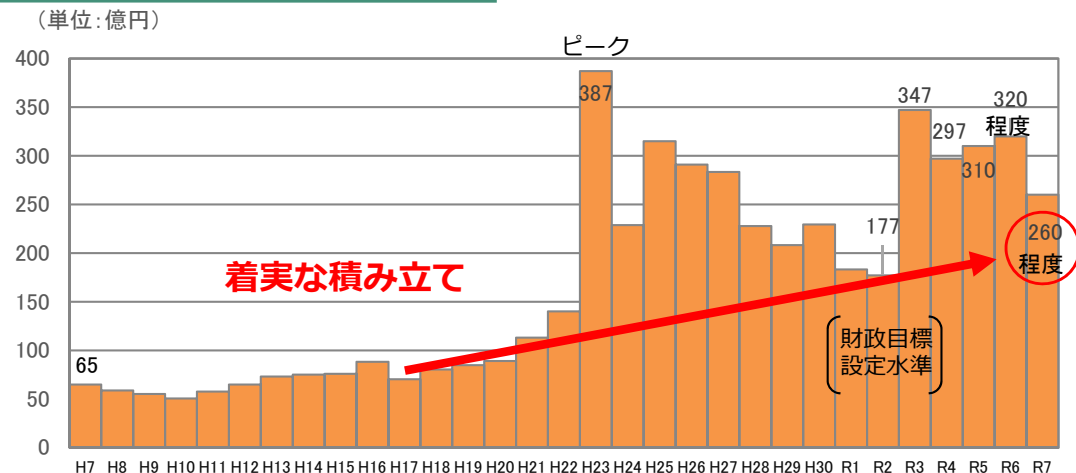
- ・ 災害等の予測できない財政需要に備えるため、財政調整基金の残高について177億円(R②末残高)を目安として一定の水準を確保する必要。
- ・ R⑦当初予算においては、60億円を取り崩し、基金残高は260億円程度。

県債残高の推移（一般会計）



- ・ 県債残高は、R5までは決算額、R6は現計予算額、R7は当初予算額を基にした額。
- ・ R6及びR7の県債残高は、今後の補正予算や決算整理等の影響により変動。

財政調整基金残高の推移



- ・ R5までは年度末残高、R6は現計予算後残高に2月補正見込100億円程度を実質積立、R7は当初予算後残高。
- ・ R6及びR7の残高は、今後の補正予算や決算整理等の影響により変動する。